

# Camera Control Pro 2 ソフトウェア

## 使用説明書 (リファレンスマニュアル)

### ■ はじめに

この使用説明書の構成、Camera Control Pro 2 の概要（主な機能および動作環境）、使用前の準備などについて記載しています。

### ■ 操作ガイド

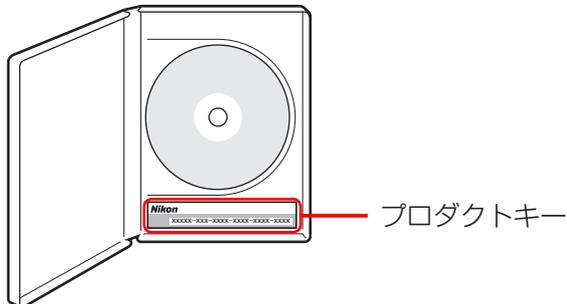
Camera Control Pro 2 の各機能の操作手順について記載しています。

### ■ 付録

環境設定の詳細、アンインストールの手順などについて記載しています。

#### 重要：Product Key（プロダクトキー）について

ケースに添付されているプロダクトキーは大切に保管してください。プロダクトキーを紛失された場合、再発行できません。このプロダクトキーは、本ソフトウェアをインストールする際に必要になります。また、将来新しいバージョンにアップグレードする際にも必要になります。



# はじめに

はじめにお読みください	3
この使用説明書について	6
動作環境	
Windows	7
Mac	8
インストール	
Windows	10
Mac	12
ご使用になる前に	
ソフトウェアの起動と終了	14
ヘルプの表示	18
ソフトウェアの更新	19

見出しやページ番号をクリックすると、その項目の説明ページに移動します。

# はじめにお読みください

1/3

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

## Camera Control Pro 2 の概要

- ・カメラとパソコン接続して、カメラのほとんどの機能をパソコンから操作できます。撮影した画像は、パソコンやメモリーカードに保存できます。対応するカメラの場合、ライブビュー撮影や動画撮影もできます。
- ・ワイヤレストランスミッター WT-4 または WT-5 などに対応するカメラでは、無線 LAN でカメラとパソコンを接続できます。
- ・撮影した画像は ViewNX 2、Caputre NX-D などのソフトウェアと連携できます。

## 表記について

- ・この使用説明書は、カメラやパソコンの OS に関する基礎的な知識をお持ちの方にお読みいただくことを想定しています。基本的な用語や操作などについてはカメラやパソコンの使用説明書などでご確認ください。
- ・この使用説明書では、古いバージョンの Camera Control Pro と区別するときなどを除いて Camera Control Pro 2 の「2」を省略して「Camera Control Pro」と表記しています。
- ・この使用説明書では、D4S、D4 をまとめて「D4 シリーズ」、D3S、D3X、D3 をまとめて「D3 シリーズ」、D300S、D300 をまとめて「D300 シリーズ」と表記しています。
- ・Windows 8.1 のすべてのエディション (Pro、Enterprise) を「Windows 8.1」と総称しています。
- ・Windows 7 のすべてのエディション (Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate) を「Windows 7」と総称しています。
- ・Windows Vista のすべてのエディション (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate) を「Windows Vista」と総称しています。
- ・OS によってメニュー名が異なる場合は、「Windows のメニュー名 (OS X のメニュー名)」と表記しています。
- ・メニューやフォルダの操作順を、矢印 (→) で示しています。
- ・コンパクトフラッシュ (CF) カードや SD メモリーカードなどを「メモリーカード」と表記しています。

# はじめにお読みください

2/3

## この使用説明書で使用する画面について

この使用説明書は、Windows と Mac の OS X を同時に説明しています。説明中では、Windows 8.1 の画面を主に使用していますが、操作方法は Windows/Mac でほぼ共通です。画面に表示されている画像は、はめ込み合成によるものが含まれています。

ただし、OS の種類やバージョンの違いによって、画面の外観や操作がこの使用説明書に掲載されているものと一部異なる場合があります。OS 特有の操作や表示画面については、ご使用の OS の使用説明書をご覧ください。

## この使用説明書を印刷するには

この使用説明書を印刷する場合は、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader の [ファイル] メニューから [印刷] を選択してください。この使用説明書は A5 サイズです。A4 サイズの用紙に印刷する場合は、2 ページを見開きで印刷してください。パソコンの画面で見開き表示にしたときと同じ状態で印刷するには、2 ページ目から印刷を開始してください。

## Camera Control Pro のインストール / アンインストール時のご注意

Camera Control Pro をインストール / アンインストールする際は、管理者 (Administrator) 権限のアカウントでログオンしてください。

## 重要

- Camera Control Pro の各種設定は、カメラの機種により設定内容が異なります。詳しい内容はご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
- Camera Control Pro は、パソコンからカメラをコントロールするソフトウェアです。撮影後の画像を編集することはできません。

## 使用する画面について

ここでは、主に D4S 使用時の画面を使用し、設定内容が大きく異なる画面のみ、他のカメラのものを併記しています。

# はじめにお読みください

3/3

## カスタマー登録 / サポート窓口のご案内

カスタマー登録とサポート窓口については、[Welcome] ウィンドウの [Nikon オンライン関連リンクボタン] をクリックすると表示される画面の [カスタマー登録] ボタンをクリックしてください。詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。



カスタマー登録

## ご注意

- あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合があるのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。
- この使用説明書の一部あるいは全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- この使用説明書に記載されている内容は予告なしに変更されることがあります。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書を使用して操作した結果については、当社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
- 本製品の不具合に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

## 商標説明

Microsoft、Windows および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Mac および OS X は米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

# この使用説明書について

## 使用説明書の見方

使用説明書の各ページは以下のようになっています。

① はじめに      操作ガイド      付録

② **Camera Control Pro パネルの設定**      1/31

以下に、各パネルで設定できる項目について説明します。

**【露出】パネル**

【露出】パネルでは、次の項目を設定できます。



③

露出モードを選択することができます（非 CPU レンズを装着した場合の露出モードについては、[非 CPU レンズを装着した場合](#)をご覧ください）。

④

**【露出モード】**  
D750、D610、D600、D600、D90、D60、D7100、D7000、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、Df で [カメラ本体のコントロールを有効にする](#) がチェックされている場合は、カメラ側で設定されている露出モードが表示されますが、Camera Control Pro で変更することはできません。露出モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

⑤ 表紙に戻る      Camera Control Pro 2      55

- ① ここをクリックすると、3つの章それぞれの最初のページに移動します。現在見ている章が濃く表示されています。
- ② ページのタイトルです。
- ③ 機能の説明です。
- ④ [青色の文字](#)をクリックすると、関連するページに移動します。リンク先から元のページに戻るには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader の [前の画面] ボタン (◀) をクリックしてください。
- ⑤ ここをクリックすると、表紙に戻ります。

# 動作環境

# Windows

インストールには以下の環境が必要です。インストール前にご確認ください。

<b>OS</b>	Windows 8.1/Pro/Enterprise Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate (Service Pack 1) Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate (Service Pack 2) <ul style="list-style-type: none"> <li>すべてプリインストールされているモデルに対応</li> <li>64bit 版 OS 上で使用する場合、32bit 互換環境での動作となります</li> </ul>
<b>CPU</b>	1GHz 以上の Intel Celeron/Pentium 4/Intel Core シリーズ
<b>RAM</b>	1GB 以上 (1.5GB 以上推奨)
<b>ハードディスク容量</b>	インストール時および使用時に、OS 起動ディスクの空き容量が 500MB 以上 (1GB 以上を推奨)
<b>モニター解像度</b>	1024 × 768ピクセル (XGA) 以上 24ビットカラー以上
<b>インターフェース</b>	標準装備された USB ポートが必要です。 ハブを介してカメラとパソコンを接続すると、正しく動作しないことがあります。
<b>対応カメラ</b>	D4 シリーズ、D3 シリーズ、D810、D810A、D800、D800E、D750、D700、D610、D600、D300 シ リ ー ズ、D7100、D7000、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、D90、D60、Df、Nikon 1 V3
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インストールするには CD-ROM ドライブが必要です。</li> <li>Nikon Message Center 2 の機能を使うには、インターネットに接続できる環境が必要です。</li> </ul>

Camera Control Pro 2 は最新のバージョンをご使用ください。対応カメラ、対応 OS の最新情報は、下記アドレスのホームページのサポート情報でご確認ください。

<http://www.nikon-image.com/support/>

# 動作環境

**Mac**

インストールには以下の環境が必要です。インストール前にご確認ください。

<b>OS</b>	OS X (Version 10.8.5、10.9.5、10.10.1) 64bit モードのみサポート、32bit モードは非サポートになります
<b>CPU</b>	1 GHz 以上の Intel Core シリーズ / Intel Xeon シリーズ
<b>RAM</b>	2GB 以上
<b>ハードディスク容量</b>	インストール時および使用時にて、OS 起動ディスクの空き容量が 500 MB 以上 (1 GB 以上推奨)
<b>モニター解像度</b>	1024 × 768 ピクセル (XGA) 以上 1670 万色以上
<b>インターフェース</b>	標準装備された USB ポートが必要です。 ハブを介してカメラとパソコンを接続すると、正しく動作しないことがあります。
<b>対応カメラ</b>	D4 シリーズ、D3 シリーズ、D810、D810A、D800、D800E、D750、D700、D610、D600、D300 シ リ ー ズ、D7200、D7100、D7000、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、D90、D60、Df、Nikon 1 V3
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>インストールするには CD-ROM ドライブが必要です。</li><li>Nikon Message Center 2 の機能を使うには、インターネットに接続できる環境が必要です。</li></ul>

Camera Control Pro 2 は最新のバージョンをご使用ください。対応カメラ、対応 OS の最新情報は、下記アドレスのホームページのサポート情報でご確認ください。

<http://www.nikon-image.com/support/>

# インストール

Camera Control Pro をインストールする前に、以下の点についてご確認ください。

- Camera Control Pro の[動作環境](#)をご確認ください。
- ウィルスチェック用のソフトウェアは終了させてください。
- 他のアプリケーションソフトウェアはすべて終了させてください。

ご使用のパソコンの OS 名をクリックし、インストール手順をご覧ください。

[Windows](#)

[Mac](#)

## 古いバージョンの Camera Control Pro がインストールされている場合

古いバージョンの Camera Control Pro がインストールされている場合は、古いバージョンがアンインストールされてから、新しい Camera Control Pro 2 がインストールされます。

## Camera Control Pro 2 がすでにインストールされている場合

すでに Camera Control Pro 2 がインストールされている場合は、インストールの操作中に Camera Control Pro 2 のバージョンに関するダイアログが表示されます。画面の指示にしたがって操作してください。

## Camera Control Pro をアンインストールする場合

[Camera Control Pro のアンインストール方法](#)をご覧ください。

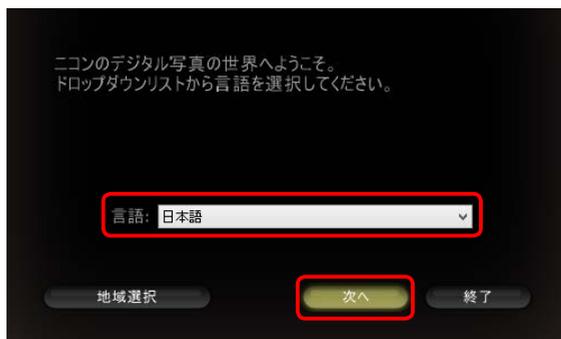
# インストール

## Windows 1/2

Camera Control Pro をインストールする場合は、管理者（Administrator）権限のアカウントでログオンしてください。

Camera Control Pro 2 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れてインストーラーを起動し、言語を選んで [次へ] をクリックすると、[Welcome] ウィンドウが開きます。

- ・ [言語] メニューに選択したい言語がない場合は、[地域選択] ボタンをクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。



### [Welcome] ウィンドウ



#### インストール

必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

#### ViewNX 2 ダウンロード

インターネットに接続できる環境の場合、インターネットブラウザが起動し、ViewNX 2 をダウンロードできるページが表示されます。

[ViewNX 2 を使用する](#)と、Camera Control Pro で撮影した画像をすぐに確認できます。Camera Control Pro には画像ビューアが内蔵されていないため、ViewNX 2 をダウンロードしてインストールすることをおすすめします。

#### 終了

[Welcome] ウィンドウを閉じます。

#### Nikon オンライン関連リンクボタン

Capture NX-D や Nikon NEF Codec のダウンロードページ、カスタマー登録などのページに接続できる画面が表示されます。

### Camera Control Pro がすでにインストールされている場合

古いバージョンの Camera Control Pro で使用していたビューアは使用できなくなるため、ViewNX 2 をインストールすることをおすすめします。

# インストール

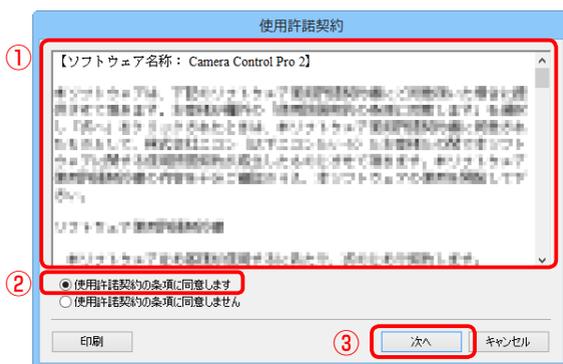
## Windows 2/2

以下の手順で Camera Control Pro をインストールしてください。

- 1 [インストール] をクリックし、画面の指示にしたがってインストールを進めてください。



- 2 使用許諾契約が表示されたら、内容 ① をよくお読みの上、[使用許諾契約の条項に同意します] を選択 ② し、[次へ] ボタン ③ をクリックしてください。



- 3 画面の指示にしたがってインストールを進めてください。

- 4 [はい] をクリックしてインストールを終了し、ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してください。

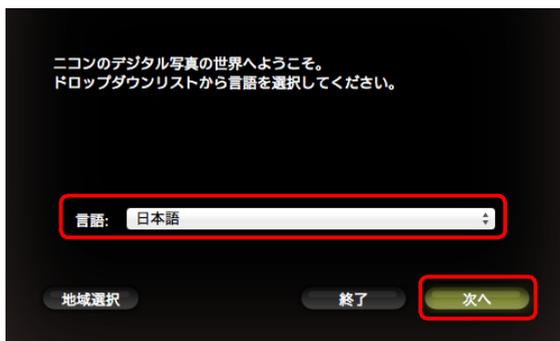
# インストール

Mac 1/2

Camera Control Pro をインストールする場合は、「管理者」権限のアカウントでログインしてください。

Camera Control Pro 2 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れてインストーラーを起動し、言語を選んで [次へ] をクリックすると、[Welcome] ウィンドウが開きます。

- [言語] メニューに選択したい言語がない場合は、[地域選択] ボタンをクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。



## [Welcome] ウィンドウ



### インストール

必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

### ViewNX 2 ダウンロード

インターネットに接続できる環境の場合、インターネットブラウザが起動し、ViewNX 2 をダウンロードできるページが表示されます。

[ViewNX 2 を使用する](#)と、Camera Control Pro で撮影した画像をすぐに確認できます。Camera Control Pro には画像ビューアが内蔵されていないため、ViewNX 2 をダウンロードしてインストールすることをおすすめします。

### 終了

[Welcome] ウィンドウを閉じます。

### Nikon オンライン関連リンクボタン

Capture NX-D や Nikon NEF Codec のダウンロードページ、カスタマー登録などのページに接続できる画面が表示されます。

## Camera Control Pro がすでにインストールされている場合

古いバージョンの Camera Control Pro で使用していたビューアは使用できなくなるため、ViewNX 2 をインストールすることをおすすめします。

# インストール

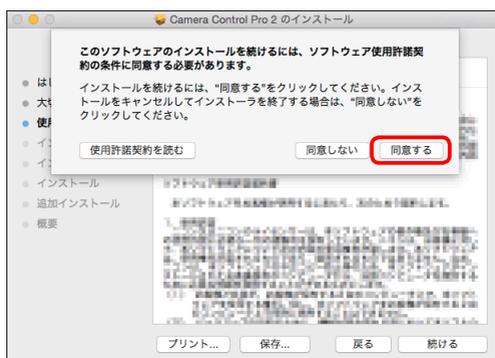
Mac 2/2

以下の手順で Camera Control Pro をインストールしてください。

- 1 [インストール] をクリックし、画面の指示にしたがってインストールを進めてください。



- 2 使用許諾契約が表示されたら、内容をよくお読みの上、[同意する] ボタンをクリックしてください。



- 3 画面の指示にしたがってインストールを進めてください。

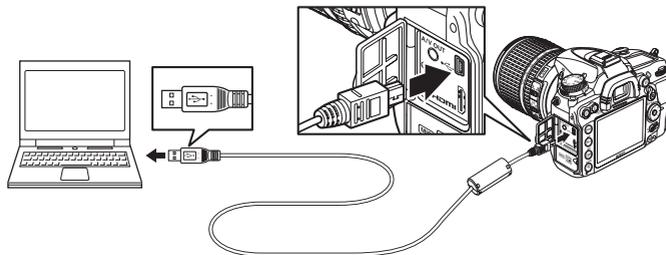
- 4 [OK] をクリックしてインストールを終了し、ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してください。

# ソフトウェアの起動と終了

1/4

## Camera Control Pro を起動する

- 1 カメラの電源を OFF にして、カメラと起動済みのパソコンを USB ケーブルで接続します。パソコンとの接続方法についてはカメラの使用説明書をご覧ください。



### ワイヤレストランスミッター WT-4 および WT-5 などによる無線 LAN または有線 LAN 接続について

Camera Control Pro は、ワイヤレストランスミッターで無線 LAN または有線 LAN 接続したカメラを、PC モードに設定して使用することもできます。接続方法についてはご使用のワイヤレストランスミッターの使用説明書をご覧ください。接続後の動作は、カメラを USB ケーブルで接続した場合と同様です。

### Camera Control Pro を起動する前に

D3 シリーズ、D300 シリーズ、D7000 の場合、カメラのリリース（動作）モードを [ミラーアップ撮影] 以外にセットしてください。

### USB の設定について

カメラのセットアップメニューに「USB」がある機種の場合、Camera Control Pro を起動する前に [PTP] または [MTP/PTP] に設定してください。

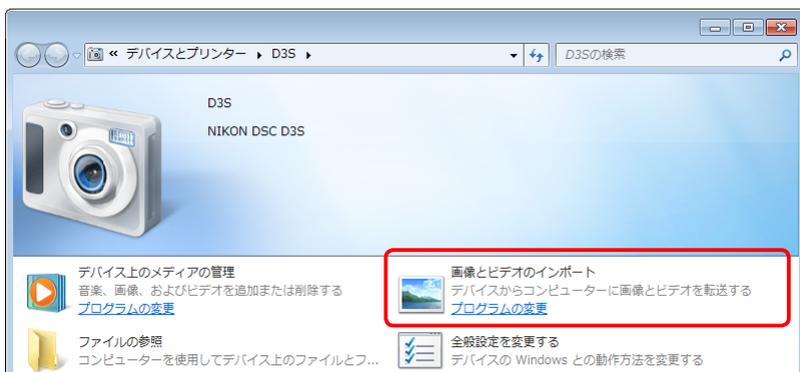
# ソフトウェアの起動と終了

2/4

- 2** カメラの電源を ON にします。  
Nikon Transfer が起動したときは終了してください。

## Windows8.1 / Windows 7 のパソコンにカメラを USB ケーブルで接続した場合

下の画面が表示されたときは、[画像とビデオのインポート] の [プログラムの変更] をクリックし、画面に従って使用するプログラムとして Camera Control Pro 2 を選びます。



## Windows Vista のパソコンにカメラを USB ケーブルで接続した場合

カメラとパソコンを USB ケーブルで接続すると、起動に使うプログラムを選択するダイアログが表示されることがあります。



[Camera Control Pro 2 使用] を選択し、Camera Control Pro を起動してください。

# ソフトウェアの起動と終了

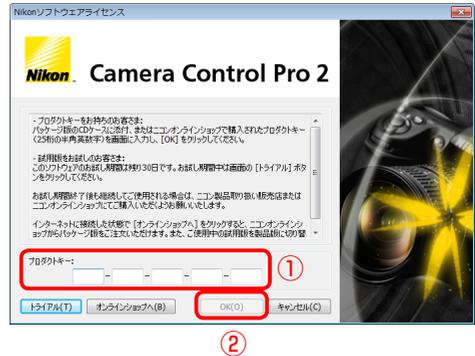
3/4

## 3 Camera Control Pro を起動します。

### プロダクトキーについてのご注意

Camera Control Pro を初めて起動したときは、プロダクトキーを入力するダイアログが表示されます。[パッケージに記載されているプロダクトキー](#)を入力①して、[OK] ボタンをクリック②してください。

- プロダクトキーは半角で入力してください。
- プロダクトキーは再インストールの際などに必要になりますので、紛失しないようご注意ください。
- アップグレード版の Camera Control Pro の場合は、前のバージョンのプロダクトキーも必要になります。



### プロダクトキーの入力

ソフトウェアの起動時にプロダクトキーの入力画面が表示された場合は、パッケージに記載されている[プロダクトキー](#)を入力してから、[OK] ボタンをクリックしてください。プロダクトキーは再インストールの際などに必要になりますので、紛失しないようご注意ください。

トライアル版をご使用の場合は、インターネットに接続できる環境が必要です。起動のたびに、プロダクトキーの入力画面が表示されます。[トライアル] ボタンをクリックすると、Camera Control Pro をご試用 (30 日間) いただけます。[オンラインショップへ] ボタンをクリックすると、プロダクトキーの購入サイトが表示されます。

### 重要

Camera Control Pro を起動する前に、カメラとパソコンが接続されていない、またはカメラの電源が OFF になっている場合には、[Camera Control Pro] ウィンドウが以下のように表示されます。この場合、主な機能を使用することができません。カメラとパソコンを接続し、カメラの電源を ON にしてください。



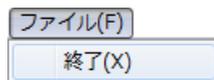
# ソフトウェアの起動と終了

4/4

## Camera Control Pro を終了する

### Windows

[ファイル] メニューから [終了] を選択する。



### Mac

[Camera Control Pro] メニューから [Camera Control Pro を終了] を選択する。

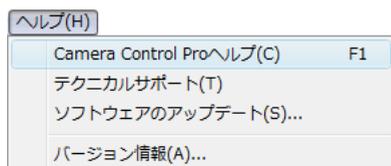


## カメラとパソコンの接続を解除する

カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを取り外してください。

## ヘルプの表示

操作方法についてわからないことがあった場合は、ヘルプをご参照ください。  
[ヘルプ] メニューから [Camera Control Pro ヘルプ] を選択すると、Camera Control Pro のヘルプ画面が表示されます。



**Windows**



**Mac**

# ソフトウェアの更新

Camera Control Pro をインストールすると、Camera Control Pro などの更新情報をチェックするソフトウェアのニコメッセージセンター (Nikon Message Center 2) がインストールされます。ご使用のパソコンがインターネットに接続されていれば、Camera Control Pro の更新情報などを自動的にチェックします。更新情報がある場合は、ダイアログが表示されます。更新情報の表示タイミングについて、詳しくはニコメッセージセンター (Nikon Message Center 2) のヘルプを参照してください。

## メニューから Camera Control Pro を更新する場合

[ヘルプ] メニューから [ソフトウェアのアップデート] を選択しても、新しいバージョンの Camera Control Pro があるかをチェックできます。

## ソフトウェアアップデートについてのご注意

ソフトウェアをアップデートする際は、ご使用のパソコンがインターネットに接続できる環境である必要があります。

## プライバシーポリシーについて

本サービスにより提供されたお客様の個人情報を、お客様の同意なしに第三者に開示することはありません。

# 操作ガイド

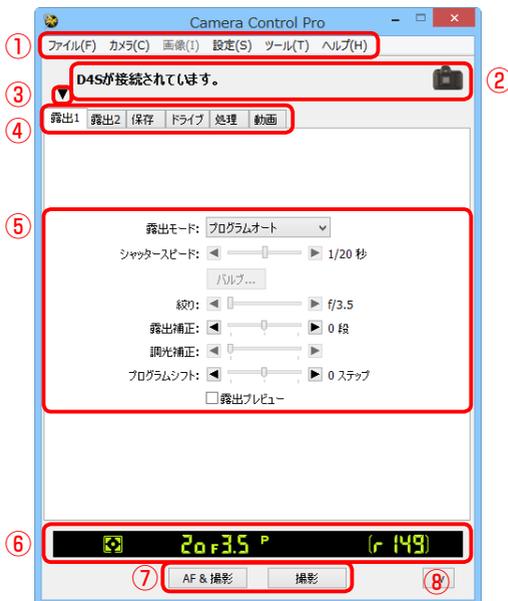
Camera Control Pro の画面構成	21
これから撮影する画像をハードディスクに保存する	23
撮影した画像を確認する	30
ライブビュー画面で撮影する	31
動画撮影	47
インターバルタイマー撮影	50
Camera Control Pro の各機能	55
Camera Control Pro パネルの設定	60
コントロール設定の保存と読み込み	96
[カメラ] メニューについて	97
カスタムセッティング	103

# Camera Control Pro の画面構成

1/2

Camera Control Pro の画面構成は以下のようになっています（画面は D4S の例です）。

## Windows



- ① メニューバー
- ② **接続表示**: カメラの接続状態、接続されているカメラの名前などが表示されています。
- ③ **表示切り換えボタン** ▼ / ▶: パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。
- ④ **パネル選択用タブ**: クリックすると、該当する Camera Control Pro パネルが開きます。
- ⑤ **Camera Control Pro パネル**: カメラ側の各種設定を行うことができます。
- ⑥ **LCD 領域**: カメラの「ファインダー内表示」や液晶モニターと同様の情報が表示されています。
- ⑦ **撮影ボタン**: カメラのシャッターボタンと同様の機能です。[ショートカットキー](#)を割り当てることもできます。
- ⑧ **ライブビュー起動ボタン**: [ライブビュー] ウィンドウの表示・ライブビューの開始を行います（ライブビュー可能なカメラのみ）。

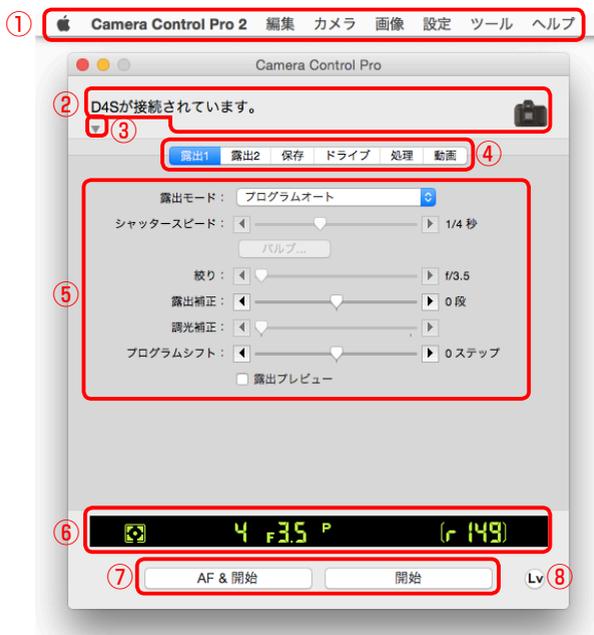
## 表示の切り換えについて

表示の切り換えは、メニューで行うこともできます。[ツール] メニューの [カメラコントロールパネルを隠す] を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを非表示にします。[カメラコントロールパネルを表示] を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを表示します。

# Camera Control Pro の画面構成

2/2

Mac



- ① **メニューバー**
- ② **接続表示**: カメラの接続状態、接続されているカメラの名前などが表示されています。
- ③ **表示切り換えボタン** ▼ / ▶: パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。
- ④ **パネル選択用タブ**: クリックすると、該当する Camera Control Pro パネルが開きます。
- ⑤ **Camera Control Pro パネル**: カメラ側の各種設定を行うことができます。
- ⑥ **LCD 領域**: カメラの「ファインダー内表示」や液晶モニターと同様の情報が表示されています。
- ⑦ **撮影ボタン**: カメラのシャッターボタンと同様の機能です。[ショートカットキー](#)を割り当てることもできます。
- ⑧ **ライブビュー起動ボタン**: [ライブビュー] ウィンドウの表示・ライブビューの開始を行います (ライブビュー可能なカメラのみ)。

## 表示の切り換えについて

表示の切り換えは、メニューで行うこともできます。[ツール] メニューの [カメラコントロールパネルを隠す] を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを非表示にします。[カメラコントロールパネルを表示] を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを表示します。

# これから撮影する画像をハードディスクに保存する 1/7

Camera Control Pro を起動した状態で撮影を行うと、撮影した画像はカメラ内のメモリーカードには記録されず（カード同時記録対応カメラを除く）、パソコンのハードディスクに保存されます。

撮影するには、次の2通りの方法があります。

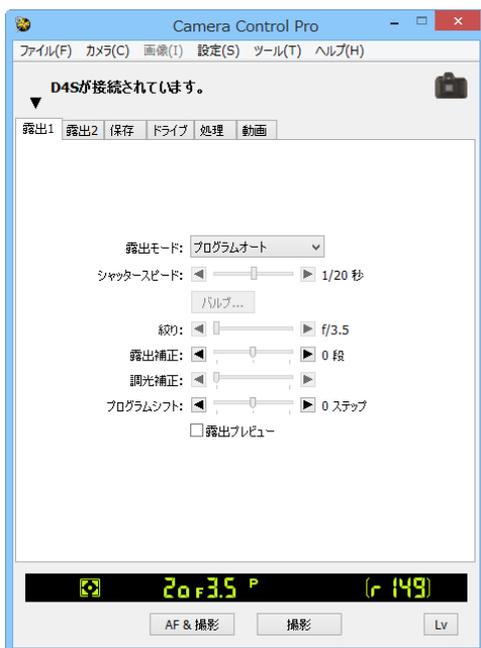
パソコンから撮影する	[Camera Control Pro] ウィンドウの [AF & 撮影] / [撮影] ボタンを使うと、パソコンから撮影できます。
カメラ本体で直接撮影する	[カメラ] メニューで <a href="#">[カメラ本体のコントロールを有効にする]</a> にチェックを入れると、カメラ本体で撮影できます。

## カード同時記録対応カメラの場合（D4 シリーズ /D3S/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D7200/D7100/D7000/D5500/D5300/D5200/D5100/Df/Nikon 1 V3）

撮影した画像を、パソコンのハードディスクまたはカメラのスロットに挿入したメモリーカードに記録できます。パソコンとメモリーカード両方に記録することもできます。

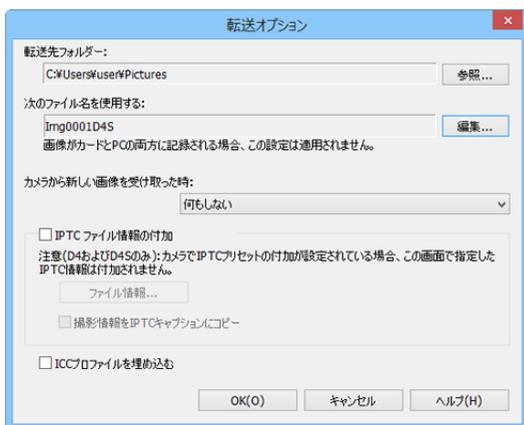
詳しくは [\[画像記録先\]](#) をご覧ください。

- 1 Camera Control Pro を起動します。Nikon 1 V3 を接続した場合、[ライブビュー] ウィンドウ（ライブビュー画面）も自動的に表示されます。



# これから撮影する画像をハードディスクに保存する 2/7

- 2 [ツール] メニューの [転送オプション ...] を選択します。  
 次のような [転送オプション] ダイアログが表示されます。



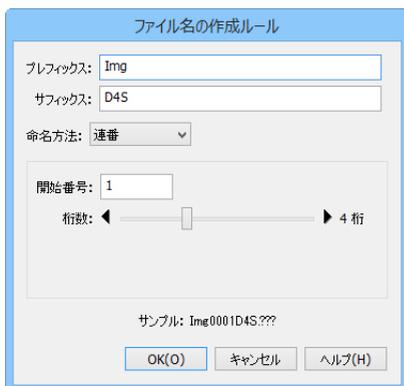
- 3 撮影画像の保存先、ファイル名、転送後の操作、ファイル情報の設定を行います。

## [転送先フォルダー]

保存先フォルダー名が表示されます。フォルダーを変更する場合は、[参照] (Mac では [選択]) ボタンをクリックして、撮影した画像を保存するフォルダを指定します。

## [次のファイル名を使用する]

保存するファイル名が表示されます。ファイル名を変更する場合は、[編集] ボタンをクリックします。[ファイル名の作成ルール] ダイアログが表示されます。



[ステップ 3 次ページへ続く](#) ➡

# これから撮影する画像をハードディスクに保存する 3/7

ファイル名は「プレフィックス + 識別子 + サフィックス + 拡張子」で構成されます。変更したファイル名は、画面下の [サンプル] で確認できます。

サンプル: **Img0001D4S.???**

プレフィックス 識別子 サフィックス 拡張子

## 拡張子について

変更するファイル名には、自動的に以下の拡張子が付きます。

JPEG 画像	.JPG
TIFF 画像	.TIF
RAW 画像	.NEF
イメージダストオフデータ	.NDF

[プレフィックス]	ファイル名の先頭に使用したい文字を入力できます。
[サフィックス]	ファイル名の末尾に使用したい文字を入力できます。
[命名方法]	識別子の付け方を [連番]、[日付]、[日付と時間] から選択できます。連番の場合は開始番号と桁数 (2 ~ 8 桁) を設定できます。

ファイル名を変更してから [OK] ボタンをクリックすると、[転送オプション] ダイアログに戻ります。

[ステップ 3 次ページへ続く](#)



## ファイル名の制限事項について

ファイル名を指定する際には、次のことに留意してください。

### Windows

ファイル名には、「¥」、「/」、「:」、「\*」、「?」、「"」、「<」、「>」、「|」は使用できません。「:」は、ファイル名の先頭または末尾では使用できません。ファイル名は半角で 100 文字 (全角で 50 文字) 以内になるように指定してください。

### Mac

ファイル名は 20 文字 (半角・全角とも) 以内になるように指定してください。また、ファイル名で「:」は使用できません。

**[画像記録先] が [PC+ カード] または [カード] に設定されている場合 (D4 シリーズ /D3S/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D7200/D7100/D7000/D5500/D5300/D5200/D5100/Df/Nikon 1 V3)**

[保存] パネルの [\[画像記録先\]](#) が [PC+ カード] または [カード] の場合、[次のファイル名を使用する] で設定したファイル名は適用されません。また、[PC+ カード] の場合、パソコンに保存するファイル名はメモリーカードに記録するファイル名と同じになります。ただし、既存のファイルとファイル名が重複する場合は、アンダーバーと 4 桁の連番が自動的に追加されます。

# これから撮影する画像をハードディスクに保存する 4/7

## 【カメラから新しい画像を受け取った時】

カメラから新しい画像を受け取ったときの動作を設定できます。

【何もしない】	撮影した画像を直接ハードディスクに保存します。
<b>【ViewNX-i に表示する】</b> <b>【ViewNX 2 に表示する】</b> <b>【ViewNX に表示する】</b> (ViewNX-i または ViewNX 2、ViewNX がインストールされている場合に表示)	撮影した画像をハードディスクに保存した後、ViewNX-i または ViewNX 2、ViewNX が自動的に起動し、撮影直後にパソコンで画像を確認することができます。ViewNX-i または ViewNX 2、ViewNX の使用方法についてはそれぞれのヘルプをご覧ください。ViewNX-i または ViewNX 2、ViewNX は最新のバージョンをご使いください。
<b>【Capture NX の監視フォルダに保存する】*</b> <b>【Capture NX 2 の監視フォルダに保存する】</b> (Capture NX または Capture NX 2 で監視フォルダが設定されている場合に表示)	別売の Capture NX または Capture NX 2 の「監視フォルダ」で設定しているフォルダ内に撮影した画像が保存されます。保存された画像は、Capture NX または Capture NX 2 であらかじめ設定していた自動保存処理（バッチ処理）が適用されます。この機能を使用する場合は、監視フォルダが設定されている Capture NX または Capture NX 2 を起動してください。監視フォルダの機能については、それぞれの使用説明書をご覧ください。接続したカメラが Capture NX または Capture NX 2 に対応しているかどうかは、それぞれの使用説明書をご覧ください。

\* Capture NX 2 がインストールされている場合は、Capture NX 2 が優先され、この項目は表示されません。

[ステップ 3 次ページへ続く](#)



# これから撮影する画像をハードディスクに保存する 5/7

## [IPTC ファイル情報の付加]

チェックボックスをオン  にすると、転送する画像ファイルに [ファイル情報] ダイアログで設定した情報を付加します。また、このチェックボックスをオン  にすると、[ファイル情報] ボタンと [撮影情報を IPTC キャプションにコピー] チェックボックスが使えるようになります。

D4 シリーズの場合、カメラ本体の「セットアップメニュー」>「IPTC」>「撮影時自動付加」を ON にしている場合は、カメラで設定した IPTC が使用されます。チェックボックスをオン  にしても、Camera Control Pro で設定した IPTC ファイル情報は付加されません。

## [ファイル情報] ボタン

キャプション、キーワードなどのファイル情報の読み込みと保存を行うことのできる [ファイル情報] ダイアログを表示します。

## [撮影情報を IPTC キャプションにコピー]

チェックボックスをオン  にすると、Camera Control Pro で撮影した画像の撮影情報がファイル情報のキャプションにコピーされます。

## [ICC プロファイルを埋め込む]

チェックボックスをオン  にすると、撮影した画像が JPEG または TIFF の場合に、カメラで設定した色空間の ICC プロファイルを埋め込んだ状態で転送します。

- 4 設定が完了したら、[OK] ボタンをクリックします。[転送オプション] ダイアログで設定した内容が確定されます。

# これから撮影する画像をハードディスクに保存する 6/7

## 画像真正性検証機能が ON に設定されている場合(D3 シリーズ /D700/D300 シリーズ)

- カメラのセットアップメニューの「画像真正性検証機能」が ON の場合、[IPTC ファイル情報の付加] チェックボックスをオン  にしても、画像の保存時に IPTC ファイル情報は付加されません。また、[ICC プロファイルを埋め込む] のチェックボックスをオン  にしても、ICC プロファイルは画像に埋め込まれません。
- 画質モードが TIFF に設定されている場合、「画像真正性検証機能」は ON に設定されていても、無効になります。
- カメラのセットアップメニューの「画像真正性検証機能」が ON の場合、[画像を反時計方向に 90 度回転] または [画像を時計方向に 90 度回転] をチェックしても、縦横位置情報は付加されません。

## [画像記録先] が [PC+ カード] または [カード] に設定されている場合 (D4 シリーズ /D3S/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D7200/D7100/D7000/D5500/D5300/D5200/D5100/Df/Nikon 1 V3)

メモリーカードに記録される画像には IPTC ファイル情報、ICC プロファイルは埋め込まれません。

## 画像の回転について

セットアップメニューで [縦横位置情報の記録] が設定できるカメラの場合、カメラ側ですでに記録する設定 (ON) になっていると、[画像] メニューで縦横位置情報の設定を行うことはできません。ライブビューモードをサポートするカメラの場合、[ライブビュー] ウィンドウで設定が可能です。

[縦横位置情報の記録] に対応していないカメラでも、カメラの向きに合わせて、撮影する画像に縦横位置情報を付加することができます。カメラを縦位置にして撮影する場合に便利です。縦横位置情報を付加すると、縦横位置情報を反映できるニコン製のソフトウェアで画像を開くときに、自動的に回転して表示されます。

画像を回転する場合は、[画像] メニューから [画像を反時計方向に 90 度回転] または [画像を時計方向に 90 度回転] を選択します。選択したメニュー項目にはチェックが付けられます。チェックの付いたメニュー項目を再度選択すると、チェックが外れます。チェックを外すと、縦横位置情報を付加しません。カメラの向きにかかわらず、撮影する画像の向きは横位置となります。



## 連写時の画像の回転について (D300/D90/D60/D5100/D5000)

カメラの動作モードによっては、連写時の画像の回転方向が連写の 1 番目の画像の向きに固定されます。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

# これから撮影する画像をハードディスクに保存する 7/7

- 5 [Camera Control Pro] ウィンドウの [AF & 撮影] / [撮影] ボタンまたはカメラのシャッターボタンを押して撮影を行います。画像の保存処理の進行状態を表す [ステータス] ダイアログが起動します。



[ステータス] ダイアログの下の部分に表示されている切り換えボタン  をクリックすると、最後に撮影された画像のおおよそのヒストグラムが表示されます。



[ハイライトを表示] チェックボックスをオン  にすると、[ステータス] ダイアログ上の画像のテキストボックスに入力した輝度値を超えた部分が黒く点滅してハイライト \* 表示されます。

\* ハイライトとは、画像の中の非常に明るい部分です。露出補正などで画像の明るさを調整する際に、点滅しているハイライト部分を目安にしてください。

[表示するチャンネル: RGB] の各チェックボックスをオン  にすることにより、赤、緑、青のチャンネルごとの個別ヒストグラム \* も表示することができます。

\* ヒストグラムとは、画像の明るさ（輝度）の分布を表すグラフのことです。横軸は画像の明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を示しています。

## 撮影した画像を確認する

[\[転送オプション\] ダイアログ](#)の[\[カメラから新しい画像を受け取った時\]](#)で [ViewNX-i に表示する] または [ViewNX 2 に表示する]、[ViewNX に表示する] を選択すると、画像を撮影してハードディスクに保存した後、選択したアプリケーションが起動して、撮影した画像を表示します。

このとき、[\[転送オプション\] ダイアログ](#)の[\[転送先フォルダー\]](#)で設定されたフォルダ内の画像を表示します。

ViewNX-i または ViewNX 2、ViewNX の使用方法についてはそれぞれのヘルプをご覧ください。ViewNX-i または ViewNX 2、ViewNX は最新のバージョンをご使用ください。

### ViewNX-i または ViewNX 2、ViewNX ですぐに画像を確認したい場合

ViewNX-i または ViewNX 2、ViewNX の [ファイル] メニューで、[Camera Control Pro 2 で撮影した画像を直ちに表示] をチェックすると、Camera Control Pro で撮影するたびに最新の画像が画像表示エリアに表示されます。

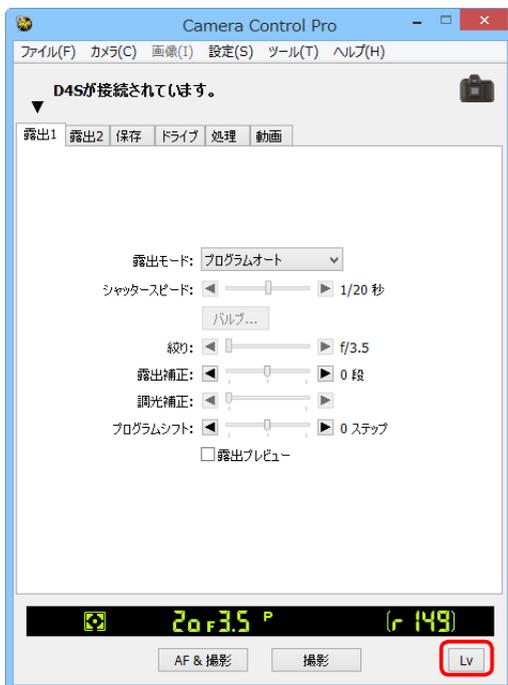
# ライブビュー画面で撮影する

1/16

## ライブビュー画面（デジタル一眼レフカメラ）

ライブビュー撮影が可能なカメラを接続した場合、[ライブビュー] ウィンドウ（ライブビュー画面）で被写体を見ながら撮影できます。

1 [Lv] ボタンをクリックします。



### ライブビュー開始時の露出モードについて（D750/D610/D600/D7200/D7100/D5500/D5300/D5200）

「露出モード」の設定が「プログラムオート」、[絞り優先オート]、[シャッター優先オート]、[マニュアル] 以外の場合、ライブビュー撮影は開始されません。

# ライブビュー画面で撮影する

2/16

- 2** [ライブビュー] ウィンドウが表示されます。[ライブビュー] ウィンドウは、接続したカメラによって異なります。

## ライブビュー撮影時のご注意

[ライブビュー] ウィンドウが表示されている場合、カメラ本体側での操作はできません。

- 3** 各カメラの [ライブビュー] ウィンドウの説明を参照して、使用したい項目を設定します。  
詳しくは「[D3 シリーズ / D700 / D300 シリーズのライブビュー \(手持ち撮影\)](#)」、  
「[D3 シリーズ / D700 / D300 シリーズのライブビュー \(三脚撮影\)](#)」、「[D90 / D7000 / D5500 / D5300 / D5200 / D5100 / D5000 / Df のライブビュー](#)」または「[D4 シリーズ / D810 / D810A / D800 / D800E / D750 / D610 / D600 / D7200 / D7100 のライブビュー](#)」をご覧ください。

- 4** [撮影] ボタンまたは [AF & 撮影] ボタンをクリックして撮影を行います。画像の保存処理の進行状態を表す [\[ステータス\] ダイアログ](#) が起動します。

- 5** ライブビュー撮影を終了するには、[ライブビュー] ウィンドウの [Lv] ボタンをクリックします。ライブビュー撮影を再開したい場合は、再度 [Lv] ボタンをクリックします。

## ライブビュー撮影中にカメラとの接続が切れた場合

カメラとの接続が切れた場合、[ライブビュー] ウィンドウは自動的に閉じられます。

## ライブビュー画面で撮影する

3/16

## D3 シリーズ / D700/D300 シリーズのライブビュー（手持ち撮影）



①	ライブビュー 画像表示エリア	カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、現在のフォーカスポイント (□) が表示されます。
②	拡大エリア表示領域	ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。
③	表示倍率選択	ライブビュー画像の拡大率を選択できます。
④	手動回転ボタン	3つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。
⑤	【自動回転】	このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、カメラの傾きに依りてライブビュー画面が自動的に回転します。
⑥	ライブビューモード 選択	ライブビューモードの切り替えを行います。
⑦	【フォーカスポイント】	各ボタンの方向に現在のフォーカスポイントを移動できます。
⑧	【AF】 ボタン	通常のオートフォーカスによるピント合わせと測光を行います。
⑨	格子線表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。
⑩	AF エリア表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に AF エリアが表示されます。

## ライブビュー画面で撮影する

4/16

⑪ 水準器表示ボタン (D3 (ファームウェア Ver.2.00 以上) / D3X/D3S/D700/D300S)	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑫ <b>【撮影】</b> ボタン	クリックと同時に撮影します。
⑬ <b>【AF&amp; 撮影】</b> ボタン	通常のオートフォーカスを行った後、撮影します。
⑭ <b>【Lv】</b> ボタン	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。

# ライブビュー画面で撮影する

5/16

## D3 シリーズ / D700/D300 シリーズのライブビュー（三脚撮影）



①	<b>ライブビュー 画像表示エリア</b>	カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、現在のフォーカスポイント (□) が表示されます。
②	<b>拡大エリア表示領域</b>	ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。
③	<b>表示倍率選択</b>	ライブビュー画像の拡大率を選択できます。
④	<b>手動回転ボタン</b>	3つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。
⑤	<b>【自動回転】</b>	このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、カメラの傾きに応じてライブビュー画面が自動的に回転します。
⑥	<b>ライブビューモード 選択</b>	ライブビューモードの切り替えを行います。
⑦	<b>【フォーカス調整】</b>	「+」 / 「-」 ボタンでフォーカス位置を調整できます。各ボタンをクリックしたときのフォーカス移動量は、フォーカス移動量スライダーで変更します。「+」 をクリックすると無限遠側、「-」 をクリックすると近接側に調整できます。

## ライブビュー画面で撮影する

6/16

⑧ <b>【AF】 ボタン</b>	クリックと同時にコントラスト AF によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、このボタンをクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。
⑨ <b>格子線表示ボタン</b>	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。
⑩ <b>水準器表示ボタン</b> (D3 (ファームウェア Ver.2.00 以上) / D3X/D3S/D700/D300S)	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑪ <b>【撮影】 ボタン</b>	クリックと同時に撮影します。
⑫ <b>【AF&amp; 撮影】 ボタン</b>	コントラスト AF によるオートフォーカスを行った後、撮影します。ピントが合わなかった場合は撮影しません。
⑬ <b>【Lv】 ボタン</b>	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。

## ライブビュー画面で撮影する

7/16

## D90/D7000/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000/Df のライブビュー



<p>① <b>ライブビュー 画像表示エリア</b></p>	<p>カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、現在のフォーカスポイント (□) が表示されます。画面上の任意の場所をクリックすると、その場所にフォーカスポイントが移動します。AFモードが顔認識 AF の場合は、カメラにより自動認識された顔の枠 (■) とフォーカスポイント (■) が表示されます。</p>
<p>② <b>拡大エリア表示領域</b></p>	<p>ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。</p>
<p>③ <b>表示倍率選択</b></p>	<p>ライブビュー画像の拡大率を選択できます。</p>
<p>④ <b>手動回転ボタン</b></p>	<p>3つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。</p>
<p>⑤ <b>[自動回転]</b></p>	<p>このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、カメラの傾きに応じてライブビュー画面が自動的に回転します。</p>

## ライブビュー画面で撮影する

8/16

⑥ AF サーボモード (D7000/D5500/ D5300/D5200/ D5100/Df)	ライブビュー中または動画撮影時の AF サーボ設定の切り替えを行います。D7000 または D5100 の場合、AF-F (常時 AF サーボ) でライブビュー中に手動でレンズのピントリングを回転させると、自動的に MF (マニュアルフォーカス) になります。再度 AF-F でライブビュー撮影をしたい場合は、ライブビューを再起動してください。
⑦ AF モード選択	ライブビュー中の AF モードの切り替えを行います。
⑧ [フォーカス調整]	「+」 / 「-」 ボタンでフォーカス位置を調整できます。各ボタンをクリックしたときのフォーカス移動量は、フォーカス移動量スライダーで変更します。「+」 をクリックすると無限遠側、「-」 をクリックすると近接側に調整できます。
⑨ [AF] ボタン	クリックと同時にコントラスト AF によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、このボタンをクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。
⑩ スポットホワイトバランスボタン (Df)	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像表示エリアに表示中の被写体の一部分をクリックして、プリセットマニュアルデータを取得できます (スポットホワイトバランス)。
⑪ 格子線表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。
⑫ 水準器表示ボタン (D7000/Df)	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑬ [撮影] ボタン	クリックと同時に撮影します。
⑭ [AF& 撮影] ボタン	コントラスト AF によるオートフォーカスを行った後、撮影します。ピントが合わなかった場合は撮影しません。
⑮ [Lv] ボタン	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。
⑯ REC ボタン (D7000/D5500/ D5300/D5200/ D5100)	動画撮影停止時にクリックすると、動画撮影を開始します。再度クリックすると、動画撮影を停止します。

## ライブビュー画面で撮影する

9/16

<p>⑰ <b>動画記録残り時間</b> (D7000/D5500/ D5300/D5200/ D5100)</p>	動画撮影可能な残り時間を表示します。
<p>⑱ <b>音声レベルインジ ケーター</b> (D5500/D5300/ D5200)</p>	動画ライブビュー中または動画記録中時の音声レベルを表示します。

## ライブビュー画面で撮影する

10/16

D4 シ リ ー ズ /D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/  
D7200/D7100 のライブビュー

<p>① <b>ライブビュー 画像表示エリア</b></p>	<p>カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、現在のフォーカスポイント (□) が表示されます。画面上の任意の場所をクリックすると、その場所にフォーカスポイントが移動します。AFモードが顔認識 AF の場合は、カメラにより自動認識された顔の枠 (■) とフォーカスポイント (■) が表示されます。</p>
<p>② <b>拡大エリア表示領域</b></p>	<p>ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。</p>
<p>③ <b>表示倍率選択</b></p>	<p>ライブビュー画像の拡大率を選択できます。</p>
<p>④ <b>手動回転ボタン</b></p>	<p>3つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。</p>
<p>⑤ <b>【自動回転】</b></p>	<p>このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、カメラの傾きに応じてライブビュー画面が自動的に回転します。</p>
<p>⑥ <b>AF サーボモード</b></p>	<p>ライブビュー中または動画撮影時の AF サーボ設定の切り替えを行います。</p>
<p>⑦ <b>AF モード選択</b></p>	<p>ライブビュー中の AF モードの切り替えを行います。</p>

## ライブビュー画面で撮影する

11/16

⑧ [フォーカス調整]	「+」 / 「-」 ボタンでフォーカス位置を調整できます。各ボタンをクリックしたときのフォーカス移動量は、フォーカス移動量スライダーで変更します。「+」 をクリックすると無限遠側、「-」 をクリックすると近接側に調整できます。
⑨ [AF] ボタン	クリックと同時にコントラスト AF によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、このボタンをクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。
⑩ スポットホワイトバランスボタン (D4S/D810/ D810A/D750/ D7200/D7100)	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像表示エリアに表示中の被写体の一部分をクリックして、プリセットマニュアルデータを取得できます (スポットホワイトバランス)。
⑪ 格子線表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。
⑫ 水準器表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑬ [撮影] ボタン	クリックと同時に撮影します。
⑭ [AF& 撮影] ボタン	コントラスト AF によるオートフォーカスを行った後、撮影します。ピントが合わなかった場合は撮影しません。
⑮ [ライブビューセレクト] ボタン	「静止画ライブビュー」または「動画ライブビュー」のいずれかを選択できます。D4 の場合、 <a href="#">[カメラ本体のコントロールを有効にする]</a> がチェックされているとき、またはライブビュー中は選択できません。
⑯ [Lv] ボタン	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。
⑰ 音声レベルインジケータ	動画ライブビュー中または動画記録中時の音声レベルを表示します。
⑱ 動画記録残り時間	動画撮影可能な残り時間を表示します。
⑲ REC ボタン	動画撮影停止時にクリックすると、動画撮影を開始します。再度クリックすると、動画撮影を停止します。

# ライブビュー画面で撮影する

12/16

## ライブビュー画面でのオートフォーカスについて (D3 シリーズ /D700/D300 シリーズのライブビュー (手持ち撮影) 以外)

ライブビュー画面をダブルクリックしても、コントラスト AF によるオートフォーカスが実行されません。オートフォーカスが実行中の場合、ライブビュー画面をダブルクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。

## ライブビュー撮影時のご注意

長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあります。カメラ内部がある一定の温度まで上昇すると、高温によるカメラのダメージを抑えるために、自動的にライブビューを終了します。ライブビューが終了する 30 秒前から、[ライブビュー] ウィンドウの左上に残り時間のカウントダウンが表示されます。撮影時の気温が高い場合は、[ライブビュー] ウィンドウ表示直後にカウントダウンが表示されることもあります。その他のライブビュー撮影時の注意事項については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

## 動画撮影について

動画撮影中に REC ボタンを押すか、ライブビューを停止すると動画撮影を停止します。動画記録残り時間が終了するか、メモリーカードの容量が不足すると自動的に停止します。

## ライブビュー動作中の制限事項について

ライブビュー動作中にご使用のカメラのモードによっては、操作できない項目があります。その場合は、ライブビューを一度停止してから操作してください。

## 動画撮影中のフレーム保存について (D4 シリーズ)

カメラのカスタムメニュー [シャッターボタンの機能] を [動画撮影中のフレーム保存] に設定している場合、[撮影] ボタンが有効になります。[撮影] ボタンをクリックすると、動画と同じサイズ (ピクセル) の静止画が撮影されます。画質モードは JPEG FINE になります。撮影できる枚数は最大 50 枚です。

## スポットホワイトバランスについて

以下の場合、スポットホワイトバランスはオンにできません。

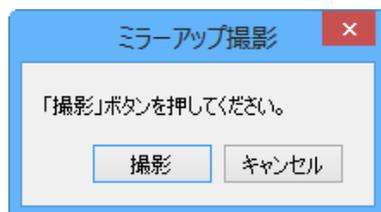
- ・ [\[ホワイトバランス\]](#) でプリセットマニュアル以外が選択されている時
- ・ [HDR モード] を [しない] 以外に設定した場合
- ・ 選択したプリセットマニュアルがプロテクト設定されている時
- ・ 動画記録時

# ライブビュー画面で撮影する

13/16

## ミラーアップ撮影について (D810A)

- カメラのリリースモードをミラーアップに設定すると、[AF& 撮影] ボタンが [AF& ミラーアップ撮影] ボタンに、[撮影] ボタンが [ミラーアップ撮影] ボタンに変わります。[AF& ミラーアップ撮影] ボタンをクリックすると、自動的に一度ピントを合わせてからミラーアップ撮影します。[ミラーアップ撮影] ボタンをクリックすると、クリックと同時にミラーアップ撮影します。
- カメラの内蔵フラッシュが上がっている場合、[AF& ミラーアップ撮影] ボタンまたは [ミラーアップ撮影] ボタンをクリックすると、[ミラーアップ撮影] ダイアログが表示されます。[撮影] ボタンをクリックすると、撮影してミラーダウンします。

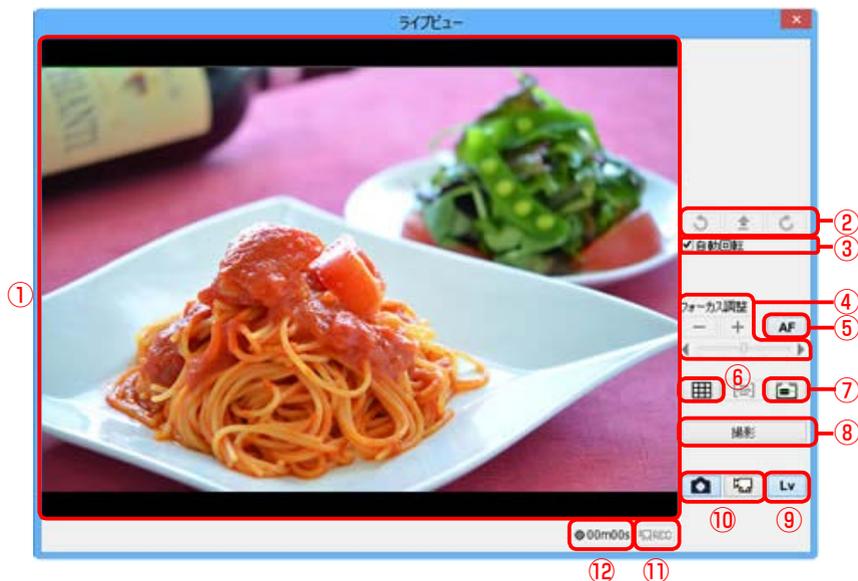


# ライブビュー画面で撮影する

14/16

## ライブビュー画面 (Nikon 1 V3)

Nikon 1 V3 を接続した場合、[ライブビュー] ウィンドウ (ライブビュー画面) が自動的に表示され、被写体を見ながら撮影できます。



<p>① 画像表示エリア</p>	<p>カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます (ライブビュー)。カメラの AF エリアモードがシングルポイントの場合は、画像上に現在のフォーカスポイント (□) が表示されます。画面上の任意の場所をクリックすると、その場所にフォーカスポイントが移動します。AF エリアモードがオートエリアの場合は、フォーカスポイントは表示されません。<a href="#">【ドライブ】パネル</a>で [顔認識] チェックボックスをオン にすると、カメラにより自動認識された顔の枠 (■) とフォーカスポイント (■) が表示されます。</p>
<p>② 手動回転ボタン</p>	<p>3つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。</p>
<p>③ [自動回転]</p>	<p>このチェックボックスがオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合、カメラの傾きに応じてライブビュー画面が自動的に回転します。</p>

## ライブビュー画面で撮影する

15/16

④	【フォーカス調整】	「+」 / 「-」 ボタンでフォーカス位置を調整できます。各ボタンをクリックしたときのフォーカス移動量は、フォーカス移動量スライダーで変更します。「+」 をクリックすると無限遠側、「-」 をクリックすると近接側に調整できます。
⑤	【AF】 ボタン	クリックと同時にハイブリッド AF (位相差 AF/ コントラスト AF) によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、このボタンをクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。
⑥	格子線表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。
⑦	水準器表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑧	【撮影】 ボタン	ハイブリッド AF によるオートフォーカスを行った後、撮影します。ピントが合わなかった場合は撮影しません。
⑨	【Lv】 ボタン	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。
⑩	【ライブビューセレクト】 ボタン	「静止画ライブビュー」または「動画ライブビュー」のいずれかを選択できます。
⑪	REC ボタン	動画撮影停止時にクリックすると、動画撮影を開始します。再度クリックすると、動画撮影を停止します。
⑫	動画記録残り時間	動画撮影可能な残り時間を表示します。

# ライブビュー画面で撮影する

16/16

## 動画撮影について

動画撮影中に REC ボタンを押すか、プレビュー画像の取得を停止すると動画撮影を停止します。動画記録残り時間が終了するか、メモリーカードの容量が不足すると自動的に停止します。

## ライブビュー停止中の制限事項について

プレビュー停止中は、操作できない項目があります。その場合は、ライブビューを開始してから操作してください。

## お気に入りフォト選択について (Nikon 1 V3)

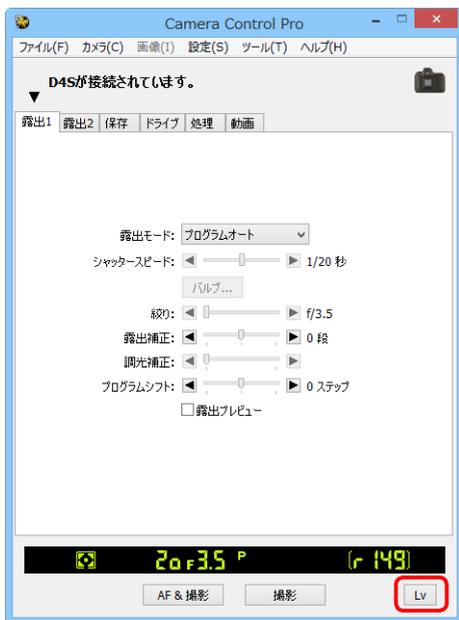
[ベストモーメントキャプチャー] を [お気に入りフォト選択] に設定すると、[撮影] ボタンが [先取り撮影開始] ボタンに変わります。クリックすると先取り撮影を開始し、[撮影] ボタンに変更されます。[撮影] ボタンをクリックすると、40 枚の静止画を撮影します。

## 動画撮影

1/3

Camera Control Pro 2 の動画撮影に対応したカメラを接続した場合、[ライブビュー] ウィンドウで音声付きの動画を撮影できます。カメラにメモリーカードが挿入されていない場合、動画は撮影できません。必ずカメラにメモリーカードを挿入してください。

## 1 [Lv] ボタンをクリックします。



## 2 [ライブビュー] ウィンドウが表示されます。

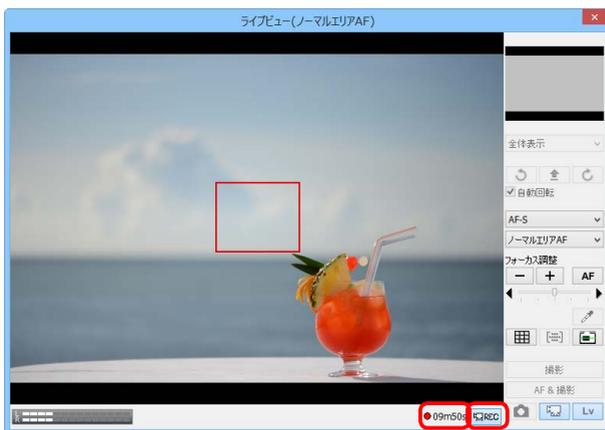


## 動画撮影

2/3

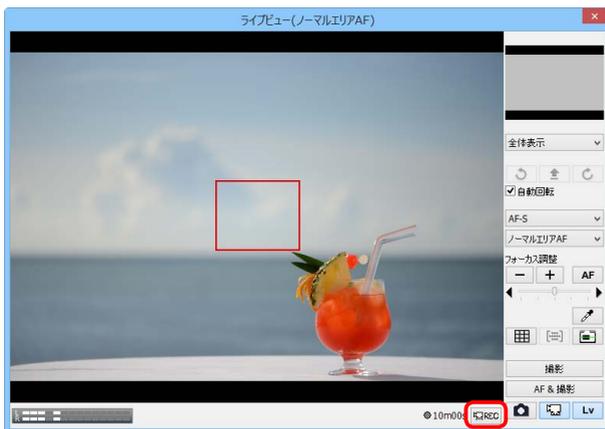
- 3** [「D90/D7000/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000/Df のライブビュー」](#)、[「D4 シリーズ /D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D7200/D7100 のライブビュー」](#) または [「ライブビュー画面 \(Nikon 1 V3\)」](#) と [「動画」](#) [パネル](#) で動画の設定を行います。動画撮影中は [ライブビュー] ウィンドウの [自動回転] や [フォーカス調整] は設定できません。

- 4** REC ボタンをクリックして、動画撮影を開始します。



ライブビュー画面の右下に表示される、動画記録残り時間が減り始めます。メモリーカードが挿入されていない場合、警告が表示され、撮影は行われません。

- 5** 動画撮影を停止する場合は、再度 REC ボタンをクリックします。



# 動画撮影

3/3

## ライブビュー残り時間表示について

長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあります。カメラ内部がある一定の温度まで上昇すると、高温によるカメラのダメージを抑えるために、自動的にライブビューを終了します。ライブビューが終了する 30 秒前から、[ライブビュー] ウィンドウの左上に残り時間のカウントダウンが表示されます。撮影時の気温が高い場合は、[ライブビュー] ウィンドウ表示直後にカウントダウンが表示されることもあります。

## 動画撮影時のご注意

動画記録残り時間が終了するか、メモリーカードの容量が不足すると動画撮影は自動的に停止します。その他の動画撮影時の注意事項については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

## 動画をパソコンに転送するには

[\[動画\] パネル](#)で [撮影後、動画ファイルを PC に転送する] チェックボックスをオン  にすると、撮影後に動画ファイルをパソコンに転送します。オフ  にしている場合、動画ファイルはメモリーカードにのみ保存されます。

## 動画撮影中の静止画撮影について (Nikon 1 V3)

Nikon 1 V3 を接続している場合、動画撮影中も [撮影] ボタンをクリックして静止画を 20 枚まで撮影できます。

- 画像サイズは [\[動画\] パネル](#)の [動画の画質] の設定により異なります。
- 画質モードは JPEG FINE になります。
- [動画モード] で [スローモーション] を選択している場合は、静止画を撮影できません。
- 撮影した静止画は常にメモリーカードに保存されます。 [\[動画\] パネル](#)で [撮影後、動画ファイルを PC に転送する] チェックボックスをオン  にすると、動画ファイルをパソコンに転送する時に静止画も一緒に転送します。

# インターバルタイマー撮影

1/5

インターバルタイマー撮影とは、一定間隔で複数枚を連続撮影することです。タイマーを設定し、自動で撮影することが可能です。

## ご注意：

以下の場合、インターバルタイマー撮影はできません。

- 画像の転送時
- ライブビュー撮影時（Nikon 1 V3 以外）
- 動画記録時
- [HDR モード] を [する (1 回)] (D4 シリーズ /D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D7200/D7100/Df)、または有効 (D5500/D5300/D5200/D5100) に設定している時
- [露出 1] パネルの [シャッタースピード] を [Bulb] に設定している時 (D4/D800/D800E/D610/D600/D5200)
- [露出 1] パネルの [シャッタースピード] を [Bulb] または [Time] に設定している時 (D4S/D810/D810A/D750/D7200/D7100/D5500/D5300/Df)
- [露出 1] パネルの [ベストモーメントキャプチャー] を [お気に入りフォト選択] に設定している時 (Nikon 1 V3)
- [動画] パネルの [動画モード] を [スローモーション] に設定している時 (Nikon 1 V3)

- 1 [カメラ] メニューの [インターバルタイマー撮影] を選択します。  
[インターバルタイマー撮影] ダイアログが表示されます。



# インターバルタイマー撮影

2/5

2 次の項目を設定します。

## [オートフォーカスを実行する] (Nikon 1 V3 以外)

チェックボックスをオン  にすると、撮影ごとにオートフォーカスを実行します。ただし、オフ  の場合でも、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」、または「オートエリア AF」をサポートするカメラで「オートエリア AF」を選択している場合は、オートフォーカスを実行します。

## [キャンセルするまで撮影する]

チェックボックスをオン  にすると、インターバルタイマー撮影進行ダイアログの [撮影を終了] ボタンをクリックするまでインターバルタイマー撮影を行います。

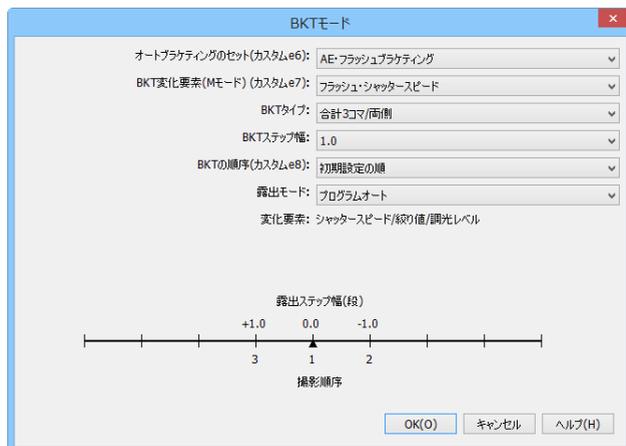
[ステップ 2 次ページへ続く](#) 

# インターバルタイマー撮影

3/5

## BKTモードの設定 (D60、Nikon 1 V3 以外)

[オートBKT] チェックボックスをオン  にすると、オートブラケティングが実行されます。[BKT 設定] ボタンをクリックすると、[BKT モード] ダイアログでブラケティングを設定できます。



画面は D4S です

<b>[オートブラケティングのセット]</b>	オートブラケティングを行う場合のブラケティングの種類を設定します。
<b>[BKT 変化要素 (M モード)]</b> (D4 シリーズ /D3 シリーズ / D810/D810A/D800/D800E/ D700/D300 シリーズ /Df)	露出モードを [マニュアル] にセットして、AE・フラッシュブラケティング、または AE ブラケティングを行った場合の変化要素を設定します。
<b>[BKT タイプ]</b> (D5500/D5300/D5200/D5100/ D5000 以外)	オートブラケティング時の撮影コマ数と補正範囲を設定します。
<b>[BKT ステップ幅]</b>	オートブラケティング時の補正ステップ幅を設定します。
<b>[BKT の順序]</b> (D5500/D5300/D5200/D5100/ D5000 以外)	オートブラケティングの補正順序を設定します。
<b>[露出モード]</b>	露出モードを選択します。

# インターバルタイマー撮影

4/5

**3** [撮影回数] に連続撮影する回数を 2 ~ 9999 の範囲で入力します。  
[キャンセルするまで撮影する] チェックボックスがオン  のときは入力できません。

**4** [タイマー] に撮影間隔を 1 秒から 99 時間 59 分 59 秒の範囲で入力します。

**5** インターバルタイマー撮影を開始します。  
[開始] ボタンをクリックすると、インターバルタイマー撮影が始まります。  
• 転送された画像に対しては、[\[転送オプション\] ダイアログ](#)の [\[カメラから新しい画像を受け取った時\]](#) で設定された動作が行われます。

**6** インターバルタイマー撮影処理進行ダイアログが表示されます。  
インターバルタイマー撮影を中止するときは、[撮影を終了] ボタンをクリックします。



## 撮影間隔の設定について

実際のインターバルタイマー撮影には、タイマー時間、シャッター速度の時間、データ転送時間、Camera Control Proが処理を行う時間などが含まれます。そのため、設定した撮影間隔や画質モードと画像サイズによっては、設定した間隔で撮影できない場合があります。

## 重要

[インターバルタイマー撮影] ウィンドウを閉じるまで、[Camera Control Pro] ウィンドウは操作できません。

# インターバルタイマー撮影

5/5

**7** インターバルタイマー撮影が終了すると、[撮影を終了] ボタンが [撮影を完了] ボタンに変わります。[撮影を完了] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

## インターバルタイマー撮影中のカメラ操作について

インターバルタイマー撮影中には、カメラの操作を行うことはできません。

### 警告ボタン

撮影時または処理中にエラーが発生した場合、[撮影を終了]（または [撮影を完了]）ボタンの隣に警告ボタン  が表示されます。警告ボタン  をクリックすると、警告メッセージが表示されます。指示に従い、[撮影を終了]（または [撮影を完了]）ボタンをクリックして、撮影を終了します。[エラーログ] ダイアログが開いて、発生したエラーのログが表示されます。[エラーログ] ダイアログの [OK] ボタンをクリックすると、[Camera Control Pro] ウィンドウに戻ります。

## ハードディスクの空き容量が足りなくなった場合は

撮影時にハードディスクの空き容量が足りなくなった場合は、インターバルタイマー撮影処理進行ダイアログのディスク空き容量表示アイコンが、緑から黄色、赤に変わります。インターバルタイマー撮影を停止して、[保存先](#)を変更してください。

### インターバルタイマー撮影

インターバルタイマー撮影モード時は、カメラの設定を変更できません

転送先フォルダー: C:\Users\User#\Pictures

 81.1 GB の空きディスク容量があります

最後に保存した画像: Img0004.jpg

保存した画像: 3

撮影間隔: 00:00:00

# Camera Control Pro の各機能

1/5

[Camera Control Pro] ウィンドウの各パネルには、現在カメラに設定されている値が表示されます。タブをクリックしてパネルを表示させ、設定内容を参照したり、変更することができます。各パネルの項目の内容は、この後の「[Camera Control Pro パネルの設定](#)」を参照してください。

## 接続表示

カメラの接続状況を表示します。



**[カメラ名]** 現在接続しているカメラ名を表示します。

### [カメラの向き] アイコン

現在接続しているカメラの向きを表します。[水平]、[時計回りに 90° 回転]、[反時計回りに 90° 回転] の 3 種類のアイコンが表示されます。

カメラのセットアップメニューの「[縦横位置情報の記録](#)」が記録する設定 (ON) の場合のみ有効です。記録しない設定 (OFF) の場合は、[カメラの向き] アイコンは表示されません。



水平

時計回りに  
90° 回転反時計回りに  
90° 回転

# Camera Control Pro の各機能

2/5

## 表示切り換えボタン ▼ / ▶

表示切り換えボタン ▼ / ▶ をクリックすると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。



## LCD 領域

ウィンドウの下部にある LCD 領域には、カメラの「ファインダー内表示」または液晶モニターと同様の情報が表示されます。ただし、カメラのエラー情報が表示されないなどの若干の違いがあります。



LCD 領域の右端にカメラのバッファの連続撮影可能コマ数が表示されます。Camera Control Pro は、定期的にカメラから連続撮影可能コマ数を取得して表示するため、カメラ本体に表示される実際の連続撮影可能コマ数との間に一時的にずれが生じる場合があります。

# Camera Control Pro の各機能

3/5

## 撮影ボタン (Nikon 1 V3 以外)

現在のカメラ設定で、または設定内容を変更したあとで、以下のうちいずれかのボタンをクリックすると撮影できます。



<b>[AF&amp; 撮影]</b>	自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。
<b>[撮影]</b>	クリックと同時に撮影します。なお、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」、または「オートエリア AF」をサポートするカメラで「オートエリア AF」を選択している場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。

カメラのリリースモードを連続撮影に設定すると、[AF& 撮影] ボタンが [AF& 開始] ボタンに、[撮影] ボタンが [開始] ボタンに変わって、パソコンからの連続撮影が可能になります。連続撮影するコマ数は、[\[撮影コマ数\]](#) で設定できます。

<b>[AF&amp; 開始]</b>	自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。
<b>[開始]</b>	クリックと同時に連写を開始します。なお、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」、または「オートエリア AF」をサポートするカメラで「オートエリア AF」を選択している場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。

カメラのリリースモードをミラーアップに設定すると、[AF& 撮影] ボタンが [AF& ミラーアップ撮影] ボタンに、[撮影] ボタンが [ミラーアップ撮影] ボタンに変わります。

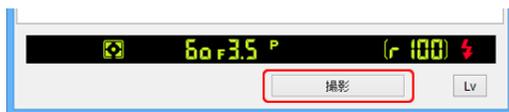
<b>[AF&amp; ミラーアップ撮影]</b>	自動的に一度ピントを合わせてからミラーアップします。
<b>[ミラーアップ撮影]</b>	クリックと同時にミラーアップを開始します。

# Camera Control Pro の各機能

4/5

## 撮影ボタン (Nikon 1 V3)

以下のボタンをクリックすると、ライブビューが開始されて撮影できます。表示されるボタンは、現在の設定により異なります。



【撮影】	クリックと同時に撮影します。なお、フォーカスモードで「マニュアルフォーカス」以外を選択している場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。
【開始】	カメラのリリースモードを連続撮影に設定すると表示され、クリックと同時に連写を開始します。なお、フォーカスモードで「マニュアルフォーカス」以外を選択している場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。
【先取り撮影開始】	<a href="#">[ベストモーメントキャプチャー]</a> を [お気に入りフォト選択] に設定すると表示されます。クリックすると先取り撮影を開始し、【撮影】 ボタンに変更されます。【撮影】 ボタンをクリックすると、40 枚の静止画を撮影します。

### 沈胴式レンズを装着した場合

沈胴式レンズを装着してレンズを繰り出していない場合、【撮影】 ボタンを押しても警告メッセージが表示され、撮影できません。

## Camera Control Pro の各機能

5/5

## 重要

カメラコントロール機能では、次のカメラ制御はできません。カメラ本体を直接操作してください。

	機能	カメラ機種
表示も制御も できない機能	コンティニユアスフォーカス機能	対応するすべての機種
	フォーカスロック	対応するすべての機種
	AF のみの動作（[AF & 撮影] ボタンによる撮影時の AF を除く）	対応するすべての機種
	絞りリングによる絞り制御（カスタムセッティングに依存）	D4 シリーズ / D3 シリーズ / D810 / D810A / D800 / D800E / D750 / D700 / D610 / D600 / D300 シ リ ー ズ / D7200 / D7100 / D7000 / Df
	被写界深度のプレビュー	対応するすべての機種
	微速度撮影	対応するすべての機種
	ファンクションボタンの機能	対応するすべての機種
	セルフタイマー撮影の設定	対応するすべての機種
	リモコン撮影の設定	D750 / D610 / D600 / D60 / D7200 / D7100 / D7000 / D5500 / D5300 / D5200 / D5100 / D5000
多重露出	対応するすべての機種	
制御できないが 表示のみ 可能な機能	フォーカスモードセレクターの切り替え	対応するすべての機種
	露出モード切り換え **	D750 / D610 / D600 / D90 / D60 / D7200 / D7100 / D7000 / D5500 / D5300 / D5200 / D5100 / D5000 / Df
	シャッタースピードのロック *	D4 シリーズ / D3 シリーズ / D810 / D810A / D800 / D800E
	絞りのロック *	D4 シリーズ / D3 シリーズ / D810 / D810A / D800 / D800E
	AE ロック *	対応するすべての機種
	別売スピードライトの調光補正量	D4 シリーズ / D3 シリーズ / Df
	ミラーアップの設定	D4 シリーズ / D3 シリーズ / D810 / D800 / D800E / D750 / D700 / D610 / D600 / D300 シ リ ー ズ / D7200 / D7100 / D7000 / Df

\* これらのロックの状態は、LCD 表示エリアにて確認することができます。

\*\* [\[カメラ本体のコントロールを有効にする\]](#) がチェックされていないときは、「露出モードの切り換え」が制御可能となります。

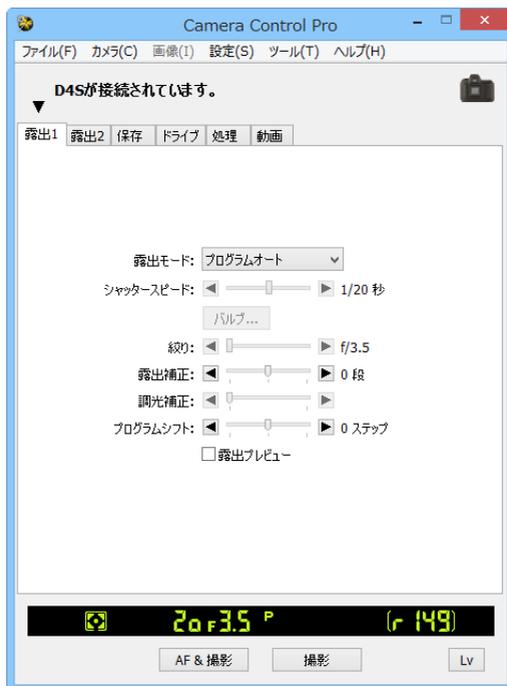
# Camera Control Pro パネルの設定

1/36

以下に、各パネルで設定できる項目について説明します。

## 【露出 1】パネル

【露出 1】パネルでは、次の項目を設定できます。

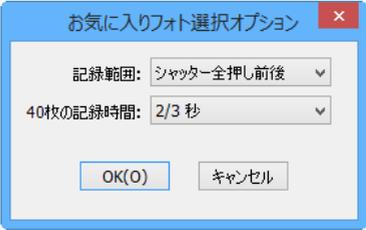


### 【ベストモーメント キャプチャー】 (Nikon 1 V3)

【お気に入りフォト選択】を選択すると、シャッターボタンを全押しした前後の 40 コマの静止画を撮影できます。

## Camera Control Pro パネルの設定

2/36

<p>【詳細】 ボタン (Nikon V13)</p>	<p>【お気に入りフォト選択】が選択されている場合にのみ有効です。クリックすると、【お気に入りフォト選択オプション】ダイアログが表示されます。</p> <p>【お気に入りフォト選択オプション】ダイアログでは、【記録範囲】と【40枚の記録時間】を設定することができます。</p> 
<p>【露出モード】</p>	<p>露出モードを選択することができます（非 CPU レンズを装着した場合の露出モードについては、<a href="#">「非 CPU レンズを装着した場合」</a>をご覧ください）。</p> <p>D750、D610、D600、D90、D60、D7200、D7100、D7000、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、Df で <a href="#">【カメラ本体のコントロールを有効にする】</a> がチェックされている場合は、カメラ側で設定されている露出モードが表示されますが、Camera Control Pro で変更することはできません。露出モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【シーンモード】 (D750/D610/D600/ D7200/D7100/D7000/ D5500/D5300/D5200/ D5100/D5000)</p>	<p>【露出モード】で【シーンモード】を選択している場合、シーンに合わせて撮影モードを変更できます。シーンモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【エフェクトモード】 (D750/D7200/D7100/ D5500/D5300/D5200/ D5100)</p>	<p>【露出モード】で【エフェクトモード】を選択している場合、特殊な効果のついた画像を撮影できます。エフェクトモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>

## Camera Control Pro パネルの設定

3/36

<p><b>【シャッタースピード】</b></p>	<p>【露出モード】で【マニュアル】または【シャッター優先オート】を選択している場合のみ変更できます。ただし、カスタムセッティングの【シャッタースピードと絞り値のロック】で【シャッタースピードのロック】を【する】に設定しているときは、変更できません（D4シリーズ/D810/D810A/D800/D800E/D700）。各カメラに設定可能なシャッタースピードの範囲でシャッタースピードを変更できます。シャッタースピードを高速に設定すると、動いている被写体を止まっているように撮影できます。逆に、スピード感を出したいときは、シャッタースピードを低速に設定します。</p>
<p><b>【バルブ】</b> (D4シリーズ/D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D7200/D7100/D5500/D5300/D5200/Df/Nikon 1 V3)</p>	<p>【露出モード】で【マニュアル】を選択し、【シャッタースピード】が【Bulb】の場合に有効です。クリックすると、【バルブ】ダイアログが表示されます。【バルブ】ダイアログで【露光時間】を設定し、バルブ撮影を行います。</p>
<p><b>【絞り】</b></p>	<p>【露出モード】で【マニュアル】または【絞り優先オート】を選択している場合、開放絞り値から最小絞り値の範囲で絞り値を変更できます。ただし、カスタムセッティングの【シャッタースピードと絞り値のロック】で【絞り値のロック】を【する】に設定しているときは、変更できません（D4シリーズ/D810/D810A/D800/D800E/D700）。絞り値が大きいほど、絞りは小さくなります。非CPUレンズを装着したカメラを接続した場合については「<a href="#">非CPUレンズを装着した場合</a>」をご覧ください。</p>
<p><b>【露出補正】</b></p>	<p>露出補正とは、カメラが適切と判断した露出値を意図的に変更することです。たとえば、被写体にコントラストの強いものがあるために露出をずらして撮影する場合などに使用します。カメラの露出モードによっては変更できません。露出値を変更できる露出モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p><b>【調光補正】</b></p>	<p>調光補正とは、フラッシュとカメラが行う適正な調光を意図的に変えることをいいます。たとえば、発光量を多くして主要被写体を一段と明るく照らしたいとき、あるいは発光量を少なくして、主要被写体に光が強く当たりすぎないようにしたいときなどに使用します。</p>

## Camera Control Pro パネルの設定

4/36

<p><b>【プログラムシフト】</b></p>	<p>【露出モード】で【プログラムオート】を選択している場合、シャッタースピードと絞りの組み合わせを変更できます。</p>
<p><b>【露出プレビュー】</b> (D4 シリーズ /D810/ D810A/D800/D800E/ D750/Df)</p>	<p>【露出プレビュー】チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、露出をプレビューします。静止画ライブビュー時のみ設定できます。</p> <p>ただし、次の場合は設定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャッタースピードが Bulb の場合 (D4/D800/D800E)</li> <li>・シャッタースピードが Bulb または Time の場合 (D4S/D810/D750/Df)</li> <li>・<a href="#">【静止画ライブビュー撮影】</a> の設定が【無音】の場合 (D4 シリーズ)</li> <li>・スポットホワイトバランス取得待機中および取得中 (D4S/D810/D810A/D750/Df)</li> </ul>

**ベストモーメントキャプチャーについて (Nikon 1 V3)**

FT1 装着時または動画ライブビュー実行時は、【お気に入りフォト選択】を選択できません。

**【露出モード】で【U1】または【U2】を選択している場合 (D750/D610/D600/D7200/D7100/D7000)**

D750、D610、D600、D7200、D7100 または D7000 では、よく使う設定やシーンモードをモードダイヤルの【U1】または【U2】に登録できます。【露出モード】で【U1】または【U2】を選択している場合、【シーンモード】の欄に【U1】または【U2】に設定されているシーンモードが表示されます。Camera Control Pro で変更することはできません。

**【おまかせシーン】について (D5100)**

【露出モード】が【オート】または【発光禁止オート】のときにライブビューを開始すると、【おまかせシーン】になります。カメラがシーンや被写体に合わせて最適な撮影モードを決定し、【シーンモード】欄に表示します。Camera Control Pro で変更することはできません。

# Camera Control Pro パネルの設定

5/36

## Bulb を使用するとき

**D4 シリーズ /D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D7200/D7100/D5500/D5300/D5200/Df/Nikon 1 V3 の場合：**

露出モードを [マニュアル] にしてシャッタースピードを Bulb にすると、[バルブ] ボタンが有効になりシャッターボタンを押している間だけシャッターが開いたままとなる長時間露出 (Bulb またはバルブ) 撮影の設定ができます。[長秒時ノイズ低減] がオンの場合、露光を終了してからファイルが作成されるまでに、露光した時間と同じだけの時間がかかります。

[バルブ] ボタンをクリックすると [バルブ] ダイアログが表示されます。[露光時間] 設定をしてから [開始] ボタンをクリックするとバルブ撮影を開始します。設定した時間が経過すると、自動的に撮影を終了します。バルブ撮影を途中で終了するときは [停止] ボタンをクリックしてください。

**D4 シリーズ /D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D7200/D7100/D5500/D5300/D5200/Df/Nikon 1 V3 以外の場合：**

露出モードを [マニュアル] にしてシャッタースピードを Bulb にすると、シャッターボタンを押している間だけシャッターが開いたままとなる長時間露出 (Bulb またはバルブ) 撮影の設定ができます。ただし、この場合、カメラ本体での Bulb 操作は可能ですが、Camera Control Pro からの操作はできません ([撮影] ボタンをクリックすると、警告メッセージが表示されます)。

## D810A の場合：

レリーズモードをミラーアップに設定している場合、[バルブ] ダイアログで [開始] ボタンをクリックするとカメラがミラーアップして [ミラーアップ撮影] ダイアログが表示されます。[撮影] ボタンをクリックすると、バルブ撮影を開始します。

## 露出モードが [エフェクト] のときの画質モードについて (D750/D7200/D7100/D5500/D5300/D5200/D5100)

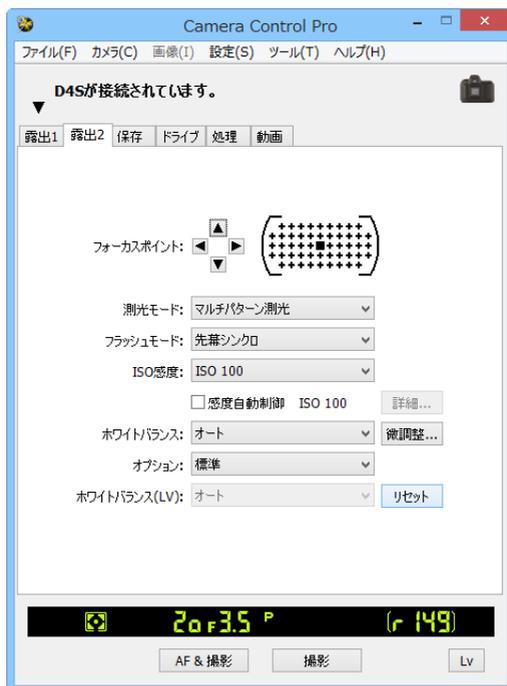
露出モードが [エフェクト] のときは、保存パネルの [画質モード] で選択できるモードが制限されます。

# Camera Control Pro パネルの設定

6/36

## 【露出 2】 パネル

【露出 2】 パネルでは、次の項目を表示および設定できます。



### 【フォーカスポイント】 (Nikon 1 V3 以外)

オートフォーカスで撮影するとき、被写体の位置や構図に合わせて、使用するフォーカスポイントを上下左右のボタンで選択します。フォーカスポイントについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。AF エリアモードとフォーカスモードについては、[【ドライブ】](#) パネルをご覧ください。

## Camera Control Pro パネルの設定

7/36

<p>【測光モード】</p>	<p>カメラに設定されている測光モードが表示されます。</p> <p>D3 シリーズ、D800、D800E、D700、D300 シリーズ、Df の場合、<a href="#">[カメラ本体のコントロールを有効にする]</a> がチェックされているときは、Camera Control Pro 上で変更することはできません。チェックされていないときは、Camera Control Pro 上で変更することもできます。</p> <p>D4 シリーズ、D810、D810A、D750、D610、D600、D90、D60、D7200、D7100、D7000、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、Nikon 1 V3 の場合、<a href="#">[カメラ本体のコントロールを有効にする]</a> がチェックされているにかかわらず、Camera Control Pro 上で変更することができます。測光モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【フラッシュモード】</p>	<p>フラッシュ撮影の場合に、撮影の目的や意図に合わせて、フラッシュモードを選択します。フラッシュモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【ISO 感度】</p>	<p>撮像感度を標準よりも高く設定することができ、暗いところでの撮影にも対応しています。撮像感度は、プルダウンメニューで設定します。設定可能な撮像感度については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p>【感度自動制御】</p>	<p>[感度自動制御] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、感度自動制御が設定されます。D4S、D810、D810A、D750、D7200、D5500、D5300、Df、Nikon 1 V3 の場合、設定された ISO 感度が横に表示されます。</p>
<p>【詳細】 ボタン (D60 以外)</p>	<p>感度自動制御が設定されている場合にのみ有効です。クリックすると、[感度自動制御] ダイアログが表示されます。</p> <p>[感度自動制御] ダイアログでは、[制御上限感度] と [低速限界設定] を設定することができます。Nikon 1 V3 の場合、[制御上限感度] のみ設定できます。</p>
<p>【ホワイトバランス】</p>	<p>さまざまな照明光の環境下でも白い被写体ができるだけ「白」に見えるように、照明光の色に合わせてホワイトバランスを調整できます。ホワイトバランスについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>

## 補足

写真に特殊な効果を持たせたいときには、意図的にホワイトバランスを変えるという使い方もできます。

## Camera Control Pro パネルの設定

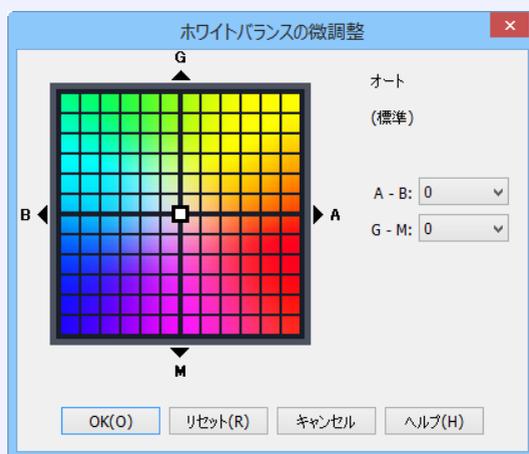
8/36

[ホワイトバランス] で選択した（選択されているホワイトバランス名はダイアログの右上に表示されます）それぞれのホワイトバランスに対する微調整が可能です。

座標上の A（アンバー）、B（ブルー）、G（グリーン）、M（マゼンタ）の4方向で、設定段数を各方向6段まで微調整できます。設定した各方向の色に画像を補整します。A、B方向（横軸）は色温度の高さを、G、M方向（縦軸）は色補正用（CC）フィルターと同じような微調整ができます。D810、D810A、D750、D7200、D5500の場合、A（アンバー）、B（ブルー）方向は色温度の高さを0.5段単位で、G（グリーン）、M（マゼンタ）方向は色補正用（CC）フィルターと同じような微調整を0.25段単位で行えます。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

[リセット] ボタンをクリックすると、デフォルト（初期値）に戻ります。[OK] ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。

## 【微調整】



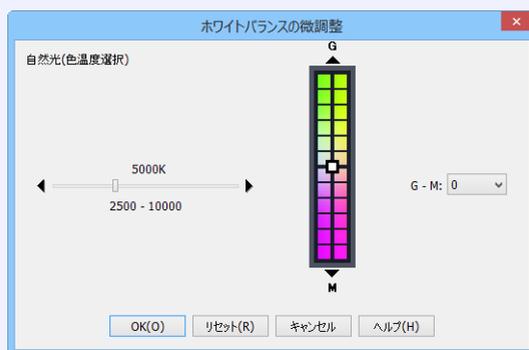
## Camera Control Pro パネルの設定

9/36

## 【微調整】

D4 シリーズ、D810、D810A、D800、D800E、D750、D7200、Df の場合、[ホワイトバランス] で [自然光 (色温度選択)] を選んでいるときは、微調整のダイアログが変更されます。2500K から 10000K の間を 10K 単位で設定できます。G (グリーン)、M (マゼンタ) 方向の色温度は 6 段まで微調整できます。D4S、D810、D810A、D750、D7200 の場合、G (グリーン)、M (マゼンタ) 方向は色温度の高さを 0.25 段単位で行えます。

[リセット] ボタンをクリックすると、デフォルト (初期値) に戻ります。[OK] ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。

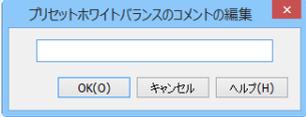


## 微調整を行うことのできないホワイトバランスについて

D4 シリーズ、D810、D810A、D800、D800E、D750、D610、D600、D7200、D7100、Df では、選択したプリセットマニュアルがプロテクト設定されている場合は、「微調整」ボタンと「編集」ボタンが無効になります。

## Camera Control Pro パネルの設定

10/36

<p><b>【蛍光灯】</b></p>	<p>[ホワイトバランス] で [蛍光灯] を選択したときにのみ表示されます。蛍光灯の種別を選択できます。</p>
<p><b>【色温度】</b> (D3 シリーズ /D700/D610/ D600/D300 シリーズ /D90/ D7100/D7000)</p>	<p>[ホワイトバランス] で [自然光 (色温度選択)] を選択したときにのみ表示されます。 色温度を選択できます。</p>
<p><b>【コメント】</b> (D60/D5500/D5300/ D5200/D5100/D5000/ Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>ホワイトバランスの各プリセットデータに対するコメントを表示します。</p>
<p><b>【オプション】</b> (D4 シリーズ /D810/ D810A/D800/D800E/ D750/D610/D600/D7200/ D7100/D7000/Df)</p>	<p>[ホワイトバランス] で [オート] を選択したときにのみ表示されます。オートの種別を選択できます。</p>
<p><b>【編集】 ボタン</b> (D60/D5500/D5300/ D5200/D5100/D5000/ Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>ホワイトバランスがプリセットに設定されている場合にのみ有効です。クリックすると、次の [プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログが表示されます。</p> <p>[プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログでは、ホワイトバランスの各プリセットデータのコメントを編集することができます。ここでは、36 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「ホワイトバランスプリセットの [プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定したコメントが、カメラに送信されます。</p> 
<p><b>【ホワイトバランス (Lv)】</b> (D4 シリーズ /D810/ D810A/D800/D800E/ D7200)</p>	<p>静止画ライブビュー時の場合、撮影用のホワイトバランスとは別にパソコンのモニター用ホワイトバランスを設定できます。モニター用のホワイトバランスを設定しても、撮影した画像には影響はありません。</p>

# Camera Control Pro パネルの設定

11/36

## 【プリセットホワイトバランスのコメントの編集】 ダイアログに入力可能な記号について (D60/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000/Nikon 1 V3 以外)

[コメント編集] ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

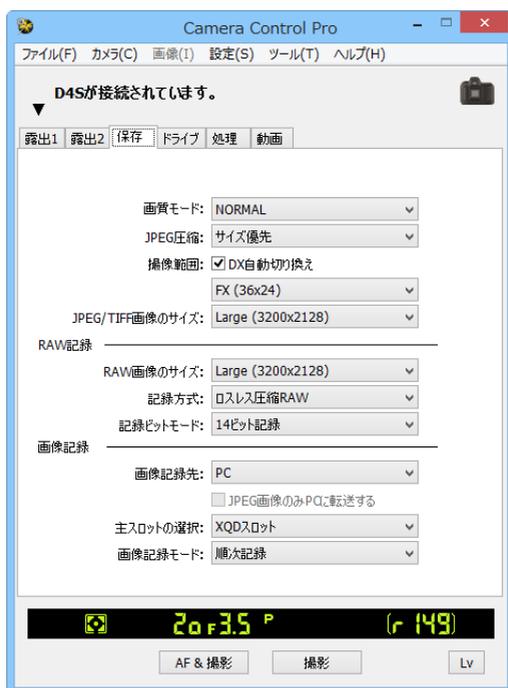
「(スペース)」、「!」、「"」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「\*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「\_」、「{」、「}」

## Camera Control Pro パネルの設定

12/36

## 【保存】パネル

【保存】パネルでは、画質モードに関する項目を表示および設定できます。



## 【画質モード】

接続しているカメラがサポートしているファイル形式と、JPEG 画像の圧縮方式を選択できます。ファイル形式は、ビット数やファイルサイズを決定する基準になります。ファイル形式については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

## 【JPEG 圧縮】

(D90/D60/D5500/D5300/  
D5200/D5100/D5000/  
Nikon 1 V3 以外)

JPEG 画像の圧縮時にファイルサイズと画質のどちらを優先するかを、[サイズ優先] と [画質優先] から選択できます。

## Camera Control Pro パネルの設定

13/36

<p><b>【撮像範囲】</b> (D4 シリーズ /D3 シリーズ / D810/D810A/D800/D800E/ D750/D700/D610/D600/ D7200/D7100/Df)</p>	<p>撮像範囲を選択できます。</p> <p>D4 シリーズ /D3 シリーズ /D810/D810A/D800/D800E/ D750/D700/D610/D600/Df の場合：</p> <p>[DX 自動切り換え] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、DX レンズを装着した場合、自動的に DX フォーマットに切り換えます。</p> <p>オフの場合は、メニューで選択されている撮像範囲に設定されます。</p>
<p><b>【画像サイズ】</b> (D4S/D810/D810A 以外)</p>	<p>画像を記録する際のサイズ（大きさ）を選択します。画像サイズについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p><b>【JPEG/TIFF 画像のサイズ】</b> (D4S/D810/D810A)</p>	<p>JPEG または TIFF の画像を記録する際のサイズ（大きさ）を選択します。画像サイズについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p><b>【RAW 記録】</b> (D90/D60/D5200/D5100/ D5000/Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>RAW データの [記録方式] または [記録ビットモード]、[RAW 画像サイズ] を選択できます。選択できるモードは接続したカメラによって異なります。</p>
<p><b>【画像記録先】</b> (D4 シリーズ /D3S/D810/ D810A/D800/D800E/D750/ D610/D600/D7200/D7100/ D7000/D5500/D5300/D5200/ D5100/Df/Nikon 1 V3)</p>	<p>撮影した画像の記録先として、[PC]、[PC+ カード] または [カード] のいずれかを選択できます。</p>
<p><b>【JPEG 画像のみ PC に転送する】</b> (D4S/D810/D810A/D750/ D7200/D5500)</p>	<p>[JPEG 画像のみ PC に転送する] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、次の条件をすべて満たした場合は JPEG 画像のみをパソコンに転送します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [画質モード] の設定が [RAW + FINE]、[RAW + NORMAL] または [RAW + BASIC]</li> <li>• [画像記録先] の設定が [PC+ カード]</li> </ul>
<p><b>【主スロットの選択】</b> (D4 シリーズ /D810/D810A/ D800/D800E)</p>	<p>優先的に使用するスロットを選択できます。</p>

## Camera Control Pro パネルの設定

14/36

## 【画像記録モード】

(D4 シリーズ /D3S/D810/  
D810A/D800/D800E/D750/  
D610/D600/D7200/D7100/  
D7000)

【画像記録先】で【PC+ カード】または【カード】を選択した場合、画像をカードに記録する保存モードを設定できます。

D3S/D750/D610/D600/D7200/D7100/D7000 の場合：

**順次記録**：スロット 1 →スロット 2 の順に記録します。

**バックアップ記録**：2つのスロットのメモリーカードに、同じ画像を記録します。

**RAW + JPEG 分割記録**：スロット 1 に RAW 画像、スロット 2 に JPEG 画像を記録します。

D4 シリーズ /D810/D810A/D800/D800E の場合：

**順次記録**：優先的に使用するスロットから順に画像を記録します。

**バックアップ記録**：2つのスロットのメモリーカードに、同じ画像を記録します。

**RAW+JPEG 分割記録**：優先的に使用するスロットのメモリーカードに RAW 画像、もう一方のスロットのメモリーカードに JPEG 画像を記録します。

**【PC+ カード】または【カード】を選択した場合のご注意 (D4 シリーズ /D3S/  
D810/D810A/D800/D800E/D750/D610/D600/D7200/D7100/D7000/  
D5500/D5300/D5200/D5100/Df/Nikon 1 V3)**

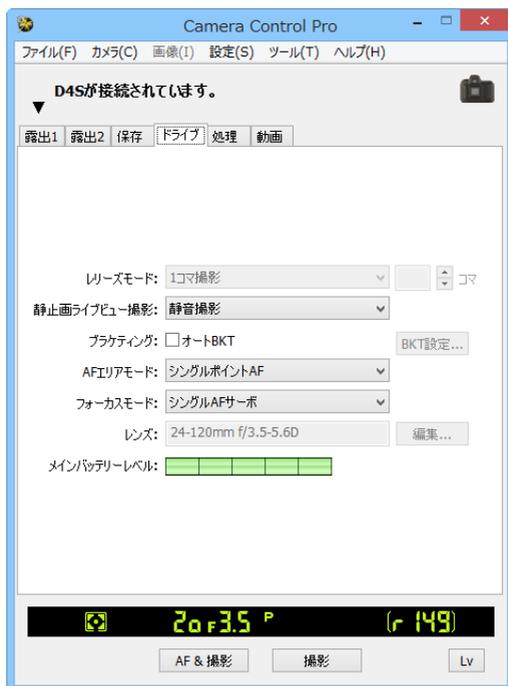
- メモリーカードの空き容量が不足している、メモリーカードの初期化中、またはスロット内にメモリーカードがない場合、撮影することができません。メモリーカードを交換または挿入するか、【PC】を選択してください。
- 撮影時にハードディスクの空き容量が足りなくなった場合は、警告メッセージが表示されます。メッセージにしたがって、**保存先**を変更してください。
- メモリーカードに記録する画像には、IPTC ファイル情報、ICC プロファイルは付加されません。

# Camera Control Pro パネルの設定

15/36

## 【ドライブ】パネル

【ドライブ】パネルでは、カメラの操作に関する項目を表示および設定できます。



## Camera Control Pro パネルの設定

16/36

<p>[リリースモード]</p>	<p>カメラのリリースモードを確認・変更できます。選択できるモードは接続したカメラによって異なります。</p> <p><b>D4 シリーズ / D3 シリーズ / D810 / D810A / D800 / D800E / D700 / D750 / D610 / D600 / D300 シリーズ / D7200 / D7100 / D7000 / Df</b> : <a href="#">[カメラ本体のコントロールを有効にする]</a> がチェックされているときは、カメラで設定したリリースモードが表示され、パソコン上で変更することはできません。チェックされていないときは、カメラで設定したリリースモードにかかわらず、リリースモードを変更できます。</p> <p><b>D90 / D60 / D5500 / D5300 / D5200 / D5100 / D5000</b> : カメラ本体のリリースモードを [セルフタイマー撮影]、[2 秒リモコン撮影]、[瞬時リモコン撮影] に設定した場合、[1 コマ撮影] になります。</p>
------------------	---

## [AF&amp; 撮影] / [撮影] ボタン

- ・リリースモードを連続撮影に設定している場合、[AF& 撮影] ボタンが [AF& 開始] ボタンに、[撮影] ボタンが [開始] ボタンに変わります。
- ・リリースモードをミラーアップに設定している場合、[AF& 撮影] ボタンが [AF& ミラーアップ撮影] ボタンに、[撮影] ボタンが [ミラーアップ撮影] ボタンに変わります。

<p>[撮影コマ数]</p>	<p>△または▽をクリックするか、テキストボックスに直接入力して、連続撮影可能コマ数を設定します。リリースモードが連続撮影に設定されている場合にのみ、有効になります。入力できるコマ数は、撮影時の画質モードによって異なります。カメラ側の設定により連写可能なコマ数は異なります。LCD 領域右端に表示されたカメラの連続撮影可能コマ数を確認し、それより小さな値を入力して下さい。連続撮影可能コマ数より大きな値を入力した場合には、入力した値が赤く表示されます。</p>
<p>[静止画ライブビュー撮影] (D4 シリーズ)</p>	<p>静止画ライブビュー時の撮影方法を選択できます。</p>
<p>[ブラケットिंग] (D60/Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>[オート BKT] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、オートブラケットिंगが実行されます。[BKT 設定] ボタンをクリックすると、[BKT モード] ダイアログでブラケットिंगを設定できます。詳しくは<a href="#">インターバルタイマー撮影の手順 2</a>をご覧ください。</p>
<p>[サイレント撮影] (Nikon 1 V3)</p>	<p>[サイレント撮影] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、撮影時の音を鳴らさないようにできます。</p>

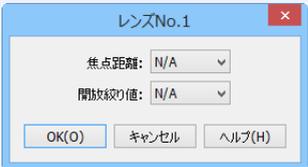
## Camera Control Pro パネルの設定

17/36

<b>[連続撮影速度]</b> (Nikon 1 V3)	レリーズモードが連続撮影に設定されている場合にのみ、有効になります。連続撮影速度を設定します。
<b>[AF エリアモード]</b>	フォーカスポイントを設定します。D3 シリーズ、D700、D300 シリーズの場合、 <a href="#">[カメラ本体のコントロールを有効にする]</a> がチェックされているときは、カメラで設定した AF エリアモードが表示され、パソコン上で変更することはできません。チェックボックスがチェックされていないときは、カメラで設定した AF エリアモードがデフォルト（初期値）として表示されますが、パソコン上で変更することができます。AF エリアモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
<b>[顔認識]</b> (Nikon 1 V3)	[顔認識] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、カメラが人物の顔を自動認識します。フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定している場合は無効になります。
<b>[フォーカスモード]</b>	カメラに設定されているフォーカスモードが表示されます。D3 シリーズ、D700、D300 シリーズでは Camera Control Pro からは変更できません。フォーカスモードは、カメラ上で設定してください。その他のカメラの場合、パソコン上でフォーカスモードを変更できます。フォーカスモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
<b>[レンズ]</b>	現在カメラに装着されているレンズの焦点距離と開放 F 値などのレンズ情報が表示されます。ただし、装着しているレンズによっては表示されない情報があります。D4 シリーズ、D3 シリーズ、D810、D810A、D800、D800E、D750、D700、D610、D600、D300 シリーズ、D7200、D7100、D7000、Df で CPU レンズ装着時以外は、手動で登録したレンズ情報が表示され、選択できます。Df の場合、装着しているレンズが AI レンズか非 AI レンズかの情報も表示されます。

## Camera Control Pro パネルの設定

18/36

<p><b>【編集】 ボタン</b> (D90/D60/D5500/ D5300/D5200/D5100/ D5000/Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>このボタンは、非 CPU レンズがカメラに装着されている場合にのみ有効です。クリックすると、[レンズ定義] ダイアログが表示されます。</p> <p>[レンズ定義] ダイアログでは、レンズの焦点距離と開放 F 値を設定することができます。[OK] ボタンをクリックすると、設定した焦点距離と開放 F 値が、カメラに送信されます。</p>  <p>Df の場合、[露出計連動方式] として [AI レンズ] または [非 AI レンズ] を選択できます。</p> 
<p><b>【ズーム】</b> (Nikon 1 V3)</p>	<p>スライダーを移動すると、ズーム位置を調整できます。PD ズームレンズがカメラに装着され、ライブビュー画面が表示されている場合にのみ有効です。</p>
<p><b>【光学手ブレ補正】</b> (Nikon 1 V3)</p>	<p>手ブレ補正機能のある 1NIKKOR レンズの装着時に、光学手ブレ補正の設定ができます。手ブレ補正については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p><b>【メインバッテリーレベル】</b></p>	<p>カメラのメインバッテリーの残量レベルを表示します。緑色の表示は十分に残量があることを示します。黄色の表示はバッテリーの残量が少なく、充電された予備のバッテリーを準備する必要がありますを示します。赤色の表示はバッテリーが消耗していて、交換しなければ撮影できないことを示します。この場合、Camera Control Pro はカメラを制御できなくなることがあります。充電されたリチャージャブルバッテリーまたは AC アダプターをご使用ください。</p>

# Camera Control Pro パネルの設定

19/36

## セルフタイマー撮影について

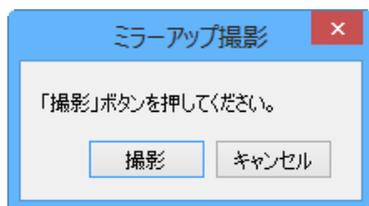
Camera Control Pro の撮影ボタンを使って、セルフタイマー撮影を行うことはできません。カメラでセルフタイマーにセットしても、リリースモードは [1 コマ撮影] と表示され、[撮影] ボタンを押しても 1 コマ撮影となります。セルフタイマー撮影を行う際は、カメラのシャッターボタンを使用してください。

## 連続撮影可能コマ数について

連続撮影を行っている間、撮影した画像をカメラからパソコンに随時転送します。そのため、転送待ちの画像がある場合には、実際に撮影できるコマ数は、LCD 領域に表示される連続撮影可能コマ数よりも少なくなる場合があります。

## ミラーアップ撮影について

[AF&ミラーアップ撮影] または [ミラーアップ撮影] ボタンをクリックすると、[ミラーアップ撮影] ダイアログが表示されます。[撮影] ボタンをクリックすると、撮影してミラーダウンします。



## Camera Control Pro パネルの設定

20/36

## 非 CPU レンズを装着した場合

カメラに非 CPU レンズを装着した場合、Camera Control Pro の動作は CPU レンズ装着時とは異なり、また、行うことのできる操作は制限されます。非 CPU レンズ装着時の動作は次のようになります。Camera Control Pro では使用できない操作も、カメラ本体で使用することができます。カメラの操作方法に関してはカメラの使用説明書をご覧ください。

	D4 シリーズ /D3 シリーズ /D810/D810A/D800/D800E/D700/D300 シリーズ /Df	D750/D610/D600/D7200/D7100/D7000	D90/D60/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000
露出モード*	[絞り優先オート] または [マニュアル] のみ選択可能	[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされている場合：変更不可でカメラ側の設定を表示する [カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされていない場合：全モードを選択可能。ただし [マニュアル] 以外では撮影できない	
シャッタースピード	露出モードが [マニュアル] の場合のみ変更可能		
絞り	レンズ定義した場合： 設定した値に「*」マークを付けて表示する レンズ定義していない場合： 変更不可で「f/--」と表示する	変更不可で「f/--」と表示する	
AF& 撮影ボタン	使用不可		
撮影ボタン	使用可能	使用可能**	使用可能***

\* D90、D60、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000 は非 CPU レンズ使用時、[マニュアル] 以外では撮影できません。D750、D610、D600、D7200、D7100、D7000 は非 CPU レンズ使用時、[絞り優先オート] または [マニュアル] 以外では撮影できません。

\*\* 露出モードが [絞り優先オート] または [マニュアル] 以外の場合、「露出モードを [絞り優先オート] または [マニュアル] に設定してください」というメッセージが表示されます。

\*\*\*露出モードが [マニュアル] 以外の場合、「露出モードを [マニュアル] に設定してください」というメッセージが表示されます。

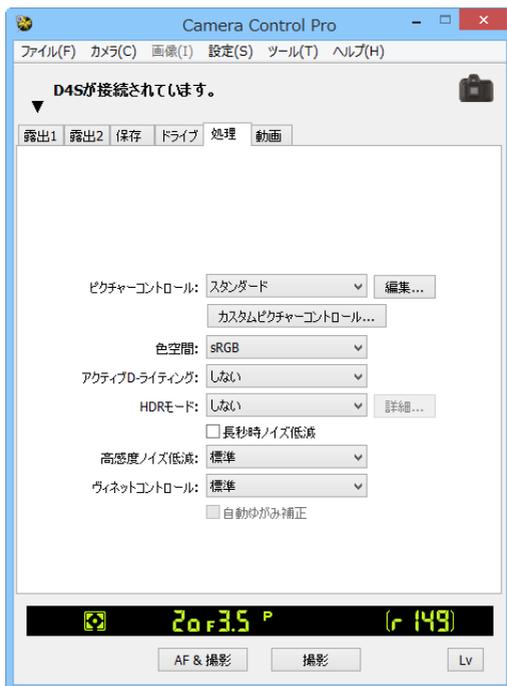
## Camera Control Pro パネルの設定

21/36

## 【処理】 パネル (D60 以外)

【処理】 パネルでは、画像に対する処理に関する項目を表示および設定できます。

※ D60 の処理パネルは [【処理】 パネル \(D60\)](#) をご覧ください。



【ピクチャーコントロール】	ピクチャーコントロールの種類を選択します。ピクチャーコントロールについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
【編集】 ボタン	クリックすると、選択したピクチャーコントロールの調整ダイアログが表示されます。詳しくは、 <a href="#">調整ダイアログ</a> をご覧ください。
【カスタムピクチャーコントロール】 ボタン	クリックすると、カスタムピクチャーコントロールの設定を行うダイアログが表示されます。詳しくは、 <a href="#">【カスタムピクチャーコントロール】 ダイアログ</a> をご覧ください。
【色空間】	撮影する画像の色空間を設定します。色空間については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

## Camera Control Pro パネルの設定

22/36

<p><b>【アクティブ D-ライティング】</b></p>	<p>アクティブ D-ライティングを設定します。アクティブ D-ライティングについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。Nikon 1 V3 の場合、【アクティブ D-ライティング】チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、アクティブ D-ライティングが有効になります。</p>
<p><b>【HDR モード】</b> (D4 シリーズ /D810/ D810A/D800/D800E/ D750/D610/D600/ D7200/D7100/D5500/ D5300/D5200/D5100/Df)</p>	<p>HDR 撮影を有効にします。D4 シリーズ、D810、D810A、D800、D800E、D750、D610、D600、D7200、D7100、D5100、Df の場合、【詳細】 ボタンをクリックすると、設定を変更できます。HDR については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p><b>【長秒時ノイズ低減】</b></p>	<p>シャッタースピードが低速になると、画像にノイズが入る場合があります。【長秒時ノイズ低減】チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、このノイズを低減させることができます。シャッタースピードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p><b>【高感度ノイズ低減】</b></p>	<p>撮像感度が高感度になると、画像にざらつき（ノイズ）が入る場合があります。選択できるメニューと【高感度ノイズ低減】が有効になる感度については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。Nikon 1 V3 の場合、【高感度ノイズ低減】チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、高感度ノイズ低減が有効になります。</p>
<p><b>【ヴィネットコントロール】</b> (D4 シリーズ /D3 (ファームウェア Ver.1.10 以上) / D3X/D3S/D810/D810A/ D800/D800E/D750/D700/ D610/D600/D7200/ D5500/Df)</p>	<p>ヴィネットコントロールの強さを設定します。ヴィネットコントロールについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p><b>【自動ゆがみ補正】</b> (D3 シリーズ /D700/D300 シリーズ /D90/D60 以外)</p>	<p>自動ゆがみ補正を有効にします。自動ゆがみ補正については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。</p>

**【HDR モード】 について**

以下の場合、一度 HDR 撮影すると HDR モードが [しない] に戻ります。

- D4 シリーズ、D810、D810A、D800、D800E、D750、D610、D600、D7200、D7100、Df で【HDR モード】を [する (1 回)] に設定した場合
- D5500、D5300、D5200、D5100 の場合

## Camera Control Pro パネルの設定

23/36

## 調整ダイアログ

[編集] ボタンをクリックすると、[ピクチャーコントロール] メニューで選択したピクチャーコントロールの調整ダイアログが表示されます。



モノクローム/フラット以外



モノクローム



フラット

<p><b>[クイック調整]</b> (モノクローム/フラット以外)</p>	<p>[クイック調整] スライダーでは、[輪郭強調]、[コントラスト]、[色の濃さ(彩度)] が一度に調整できます。</p> <p>[クイック調整] を選択した場合、[手動調整] は選択できません。</p> <p>[ピクチャーコントロール] メニューで [ニュートラル] を選択した場合、[クイック調整] は選択できません。</p>
<p><b>[手動調整]</b> (モノクローム/フラット以外)</p>	<p>[輪郭強調]、[コントラスト]、[明るさ]、[色の濃さ(彩度)]、[色合い(色相)] の各スライダーで、それぞれ個別に調整できます。</p> <p>[手動調整] を選択した場合、[クイック調整] は選択できません。</p>
<p><b>[輪郭強調]</b></p>	<p>スライダーの移動で、輪郭の強弱を調整します。[オート] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、自動的に輪郭を強調します。</p> <p>[手動調整] を選択した場合、調整可能となります。</p>
<p><b>[明瞭度]</b> (D810/D810A/D750/D7200/D5500)</p>	<p>スライダーの移動で、画像の明瞭度(すっきり感)を調整します。[オート] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、自動的に明瞭度を調整します。</p>
<p><b>[カスタムカーブ]</b></p>	<p>[カスタムカーブ] を選択すると、[編集] ボタンが使用可能となります。クリックすると、<a href="#">[階調補正テーブル編集]</a> ダイアログが表示され、階調補正テーブルを編集できます。</p> <p>[コントラスト] と [明るさ] を選択した場合、[カスタムカーブ] は選択できません。</p>

## Camera Control Pro パネルの設定

24/36

<p><b>【コントラスト】</b> <b>【明るさ】</b></p>	<p>【コントラスト】と【明るさ】を選択すると、各スライダーで、それぞれを調整できます。コントラストの【オート】チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、自動的にコントラストを調整します。</p> <p>【カスタムカーブ】を選択した場合、【コントラスト】と【明るさ】は選択できません。</p>
<p><b>【色の濃さ（彩度）】</b> (モノクローム以外)</p>	<p>スライダーの移動で、画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。【オート】チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、自動的に色の濃さ（彩度）を調整します。</p>
<p><b>【色合い（色相）】</b> (モノクローム以外)</p>	<p>スライダーの移動で、画像の色合いを調整します。</p>
<p><b>【フィルター効果】</b> (モノクロームのみ)</p>	<p>白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果をメニューから選択します。</p>
<p><b>【調色】</b> (モノクロームのみ)</p>	<p>印画紙を調色したときのように、画像全体の色調をメニューから選択します。また、選択した調色の濃淡をスライダーで調整できます。</p>

**【カスタムカーブ】について**

ニコンピクチャーコントロールの調整で【カスタムカーブ】を選択した場合は、ニコンピクチャーコントロールとしては保存できません。保存する場合は、【新規カスタムピクチャーコントロールとして登録】ボタンでカスタムピクチャーコントロールとして登録してください。

**ニコンピクチャーコントロールについて**

ニコンが提供するピクチャーコントロールを総称して「ニコンピクチャーコントロール」といいます。「ニコンピクチャーコントロール」には、カメラにあらかじめ搭載されている「ピクチャーコントロール」とニコンのホームページからダウンロードできる「オプションピクチャーコントロール」があります。ピクチャーコントロールについての詳細は、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

**【コントラスト】【明るさ】について（D3 シリーズ /D700/D300 シリーズ /D90/D5000）**

【処理】 パネルの[アクティブ D-ライティング](#)を【しない】以外に設定した場合、【ピクチャーコントロール】の【コントラスト】と【明るさ】レベル調整は選択できません。

## Camera Control Pro パネルの設定

25/36

<p><b>【新規カスタムピクチャーコントロールとして登録】 ボタン</b></p>	<p>クリックすると、[新規カスタムピクチャーコントロールとして登録] ダイアログが表示されます。[登録先] を選択し、[名前] を入力して [登録] ボタンをクリックして、調整したピクチャーコントロールを登録します。</p> <div data-bbox="468 316 911 475" style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"><p style="text-align: center; margin: 0;">新規カスタムピクチャーコントロールとして登録 <span style="float: right;">✕</span></p><p>登録先の選択: C-1:未登録 <span style="float: right;">▼</span></p><p>名前: STANDARD-02</p><p style="text-align: center;"><input type="button" value="登録(S)"/> <input type="button" value="キャンセル"/></p></div>
<p><b>【OK】 ボタン</b></p>	<p>調整したピクチャーコントロールが保存され、ダイアログを閉じます。</p>
<p><b>【リセット】 ボタン</b></p>	<p>調整したピクチャーコントロールは、初期状態にリセットされます。カスタムピクチャーコントロールの場合は、最初に保存した状態にリセットされます。</p>
<p><b>【キャンセル】 ボタン</b></p>	<p>調整したピクチャーコントロールは保存されずに、ダイアログを閉じます。</p>

## Camera Control Pro パネルの設定

26/36

## [カスタムピクチャーコントロール] ダイアログ

[カスタムピクチャーコントロール] ボタンをクリックすると、[カスタムピクチャーコントロール] ダイアログが表示されます。



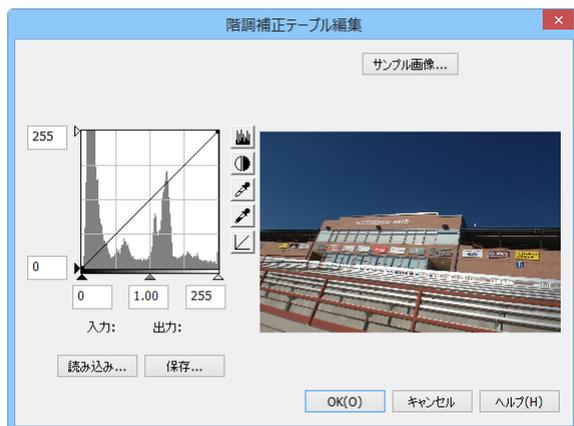
[カスタムピクチャーコントロール]	登録名変更または削除するカスタムピクチャーコントロールを選択します。
[登録名変更] ボタン	<p>クリックすると、[登録名変更] ダイアログが表示されます。変更する登録名を入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。</p> 
[削除] ボタン	<p>選択されているカスタムピクチャーコントロールを削除します。</p> <p>登録されているカスタムピクチャーコントロールがない場合、このボタンは使用できません。</p>
[閉じる] ボタン	[カスタムピクチャーコントロール] ダイアログを閉じます。

# Camera Control Pro パネルの設定

27/36

## 【階調補正テーブル編集】ダイアログ

【カスタムカーブ】の【編集】ボタンをクリックすると、【階調補正テーブル編集】ダイアログが開きます。



このダイアログの機能はカメラの階調補正テーブルを作成するもので、サンプル画像で確認しながら、シャドウ、ハイライト、中間調や、最小出力値、最大出力値などを編集することができます。独自の階調を作成して、カメラに適用することができます。

編集できるのはマスターカーブ（「RGB」チャンネルのカーブ）だけで、カーブ上に追加できるポイントは20個までです。グレー点の追加はできません。

【読み込み】ボタンをクリックすると、【階調補正テーブル編集】ダイアログで保存したトーンカーブファイル（.ntc）を選択して画像に適用することができます。次の設定ファイルが読み込み可能です。

- ・【保存】ボタンで保存したトーンカーブファイル（.ntc）
- ・別売の Nikon Capture で保存した【トーンカーブ】ファイル（.ncv）
- ・別売の Capture NX 2、Capture NX で保存した【レベルとトーンカーブ】のデータを含んだ設定ファイル（.set）

【保存】ボタンをクリックすると、【階調補正テーブル編集】ダイアログで編集したカーブをトーンカーブファイル（.ntc）の形式で保存することができます。

【サンプル画像】ボタンをクリックすると、画像調整のサンプル画像を選択して表示します。ただし、サンプル画像として使用できるのは、カメラで作成された RAW 画像のみです。

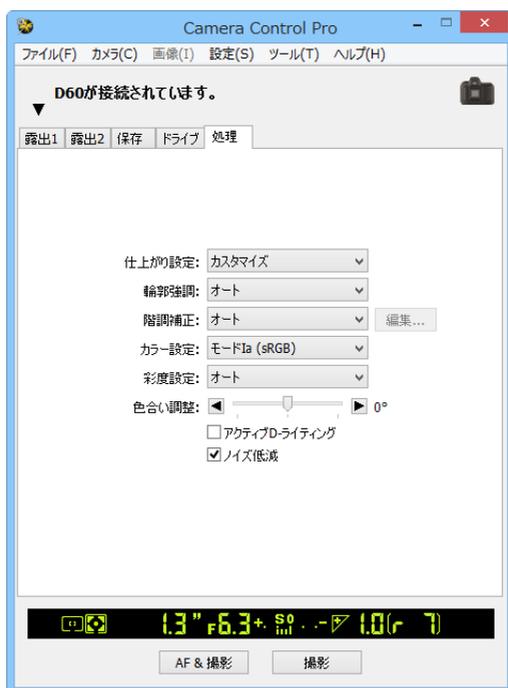
【OK】ボタンをクリックすると、編集したカーブが現在編集集中のピクチャーコントロールに反映されます。

## Camera Control Pro パネルの設定

28/36

## 【処理】パネル (D60)

【処理】パネルでは、画像に対する処理に関する項目を表示および設定できます。



【仕上がり設定】	撮影する画像の仕上がりを設定します。
【輪郭強調】	撮影状況や好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整します。輪郭を強調する度合いを選択し、意図的に調整できます。輪郭強調については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
【階調補正】	階調補正を設定して、画像のコントラストや明るさを調整します。[ユーザーカスタム] を選択して、[編集] ボタンをクリックすると、 <a href="#">【階調補正テーブル編集】ダイアログ</a> が表示されます。階調補正に関しては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
【カラー設定】	撮影する画像のカラーモードを設定します。カラー設定については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
【彩度設定】	撮影する画像のあざやかさを設定します。彩度設定については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

## Camera Control Pro パネルの設定

29/36

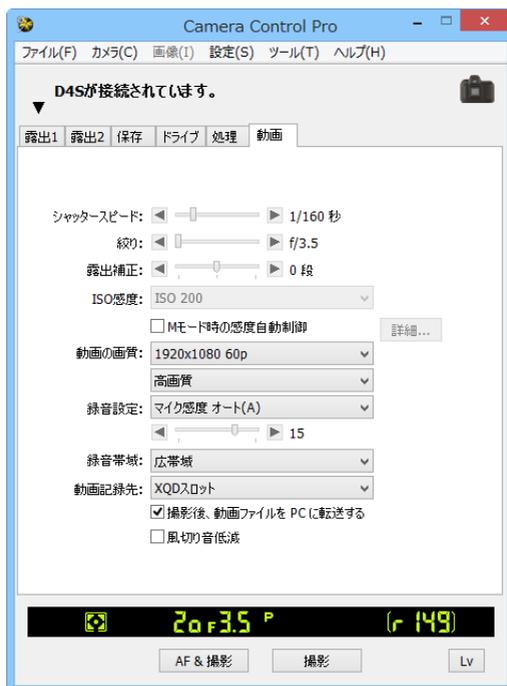
[色合い調整]	撮影する画像に対して色合いの調整が可能です。肌色を基準とした場合、数値を高くすると黄色みが増し、数値を低くすると赤みが増します。
[アクティブ D-ライティング]	アクティブ D-ライティングを有効にします。
[ノイズ低減]	シャッタースピードが低速になったり、高感度で撮影すると、画像にノイズが入る場合があります。[ノイズ低減] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、シャッタースピードが低速になったり、高感度になったときのノイズを低減させることができます。

## Camera Control Pro パネルの設定

30/36

## 【動画】 パネル（動画撮影に対応したカメラ）

動画撮影に対応したカメラの場合、【動画】 パネルが表示されます。【動画】 パネルでは、動画撮影に関する項目を表示および設定できます。



<b>【動画モード】</b> (Nikon V3)	動画の種類を [HD 動画]、[スローモーション] から設定します。
<b>【シャッタースピード】</b> (D4 シリーズ /D810/ D810A/D800/D800E/ D750/D610/D600/ D7200/D7100)	動画のシャッタースピードを設定します。
<b>【絞り】</b> (D4 シリーズ /D810/ D810A/D800/D800E/ D750/D610/D600/ D7200/D7100)	動画の絞り値を設定します。 D610、D600、D7200 の場合、絞り値は表示のみで設定はできません。

## Camera Control Pro パネルの設定

31/36

<p><b>【露出補正】</b> (D4 シリーズ /D810/ D810A/D800/D800E/ D750/D610/D600/ D7200/D7100)</p>	<p>動画の露出を補正します。</p>
<p><b>【測光モード】</b> (D810/D810A/D750/ D7200)</p>	<p>動画で使用する測光モードを設定します。</p>
<p><b>【ISO 感度】</b> (D4 シリーズ /D810/ D810A/D800/D800E/ D750/D610/D600/ D7200/D7100)</p>	<p>露出モード M 時の動画の ISO 感度を設定します。露出モード P、S、A の場合、ISO 感度は常に自動制御されます。</p>
<p><b>【ISO 感度範囲】</b> (D4)</p>	<p>感度自動制御をしている場合の、動画の ISO 感度の範囲を設定します。</p>
<p><b>【M モード時の 感度自動制御】</b> (D4S/D810/D810A/ D750/D7200)</p>	<p>【M モード時の感度自動制御】 チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、露出モード M のときもカメラが自動的に動画撮影時の ISO 感度を変更します。【詳細】 ボタンをクリックすると、感度自動制御するときに ISO 感度が高くなりすぎないように、上限感度を設定できます。</p>
<p><b>【動画の画質】</b></p>	<p>撮影する動画ファイルのサイズ、フレームレート、画質を選択します。Nikon 1 V3 の場合、【動画モード】を【HD 動画】に設定した場合のみ表示されます。</p>
<p><b>【スローモーション】</b> (Nikon 1 V3)</p>	<p>スローモーションのフレームレートを設定します。【動画モード】を【スローモーション】に設定した場合のみ表示されます。</p>
<p><b>【録音設定】</b></p>	<p>マイクの感度を設定できます。【録音しない】を選択すると、音声を録音しません。D4 シリーズ、D810、D810A、D800、D800E、D750、D610、D600、D7200、D7100、D5500、D5300、D5200 では、【マイク感度 マニュアル】に設定すると、音量調整スライダーで値を設定できます。Nikon 1 V3 の場合、【動画モード】を【HD 動画】に設定した場合のみ有効です。</p>
<p><b>【録音帯域】</b> (D4S/D810/D810A/ D750/D7200)</p>	<p>内蔵マイクまたは別売のステレオマイクロホンの周波数特性を設定します。</p>

## Camera Control Pro パネルの設定

32/36

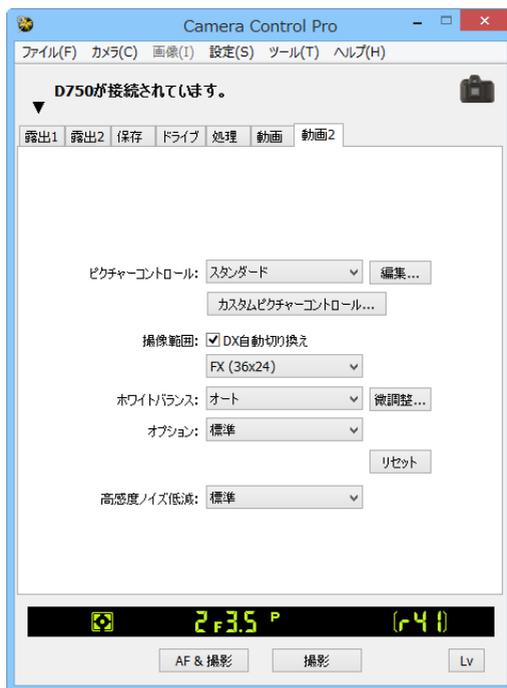
<p><b>【電子手ブレ補正】</b> (Nikon 1 V3)</p>	<p>[電子手ブレ補正] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、撮影時に電子手ブレ補正を行います。[動画モード] を [スローモーション] に設定するか、[動画の画質] を [60p] に設定した場合は無効になります。</p>
<p><b>【動画記録先】</b> (D5500/D5300/ D5200/D5100/ Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>メモリーカードを 2 枚使用している場合に動画を記録するスロットを設定します。</p>
<p><b>【撮影後、動画ファイルを PC に転送する】</b></p>	<p>[撮影後、動画ファイルを PC に転送する] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、撮影後に動画ファイルをパソコンに転送します。Nikon 1 V3 の場合、動画撮影中に撮影した静止画も転送します。オフ <input type="checkbox"/> にしている場合、動画ファイルはメモリーカードにのみ保存されません。</p>
<p><b>【動画のマニュアル設定】</b> (D7000/D5500/ D5300/D5200)</p>	<p>[動画のマニュアル設定] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、<a href="#">[露出モード]</a> を [マニュアル] に設定している場合に、動画撮影中でも<a href="#">[シャッタースピード]</a> と <a href="#">[ISO 感度]</a> の設定ができるようになります。D5500、D5300、D5200 の場合、[ISO 感度] はライブビュー中のみ設定が可能です。</p>
<p><b>【風切り音低減】</b> (D4S/D810/D810A/ D750/D7200/D5500/ D5300/Nikon 1 V3)</p>	<p>[風切り音低減] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、ローカットフィルター機能により、内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録できます。ただし、風切り音以外の音も聞こえにくくなる場合があります。</p>

## Camera Control Pro パネルの設定

33/36

## 【動画 2】 パネル (D750/D7200)

【動画 2】 パネルでは、動画撮影に関する次の項目を表示および設定できます。



【ピクチャーコントロール】	ピクチャーコントロールの種類を選択します。ピクチャーコントロールについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
【編集】 ボタン	クリックすると、選択したピクチャーコントロールの <a href="#">調整ダイアログ</a> が表示されます。詳しくは、 <a href="#">調整ダイアログ</a> をご覧ください。
【カスタムピクチャーコントロール】 ボタン	クリックすると、カスタムピクチャーコントロールの設定を行うダイアログが表示されます。詳しくは、 <a href="#">[カスタムピクチャーコントロール] ダイアログ</a> をご覧ください。
【撮像範囲】	撮像範囲を選択できます。 D750 の場合： [DX 自動切り換え] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、DX レンズを装着した場合、自動的に DX ベースの（動画）フォーマットに切り換えます。 オフの場合は、メニューで選択されている撮像範囲に設定されます。

# Camera Control Pro パネルの設定

34/36

## [ホワイトバランス]

さまざまな照明光の環境下でも白い被写体ができるだけ「白」に見えるように、照明光の色に合わせてホワイトバランスを調整できます。ホワイトバランスについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

## 補足

動画に特殊な効果を持たせたいときには、意図的にホワイトバランスを変えるという使い方もできます。

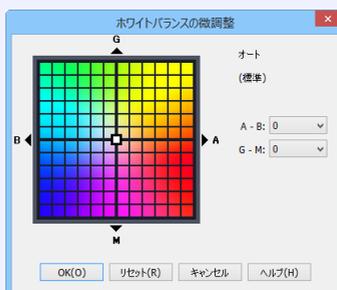
## Camera Control Pro パネルの設定

35/36

[ホワイトバランス] で選択した（選択されているホワイトバランス名はダイアログの右上に表示されます）それぞれのホワイトバランスに対する微調整が可能です。

座標上の A（アンバー）、B（ブルー）、G（グリーン）、M（マゼンタ）の4方向で、設定段数を各方向6段まで微調整できます。設定した各方向の色に動画を補整します。A（アンバー）、B（ブルー）方向は色温度の高さを0.5段単位で、G（グリーン）、M（マゼンタ）方向は色補正用（CC）フィルターと同じような微調整を0.25段単位で行えます。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

[リセット] ボタンをクリックすると、デフォルト（初期値）に戻ります。[OK] ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。

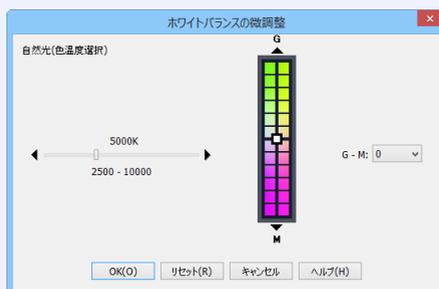


## 【微調整】

[ホワイトバランス] で [自然光（色温度選択）] を選んでいるときは、微調整のダイアログが変更されます。

2500K から 10000K の間を 10K 単位で設定できます。G（グリーン）、M（マゼンタ）方向の色温度は 6 段まで 0.25 段単位で微調整できます。

[リセット] ボタンをクリックすると、デフォルト（初期値）に戻ります。[OK] ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。

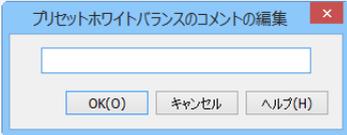


## 微調整を行うことのできないホワイトバランスについて

選択したプリセットマニュアルがプロテクト設定されている場合は、「微調整」ボタンと「編集」ボタンが無効になります。

## Camera Control Pro パネルの設定

36/36

[蛍光灯]	[ホワイトバランス] で [蛍光灯] を選択したときにのみ表示されます。蛍光灯の種別を選択できます。
[コメント]	ホワイトバランスの各プリセットデータに対するコメントを表示します。
[オプション]	[ホワイトバランス]で[オート]を選択したときにのみ表示されます。オートの種類を選択できます。
[編集] ボタン	<p>ホワイトバランスがプリセットに設定されている場合にのみ有効です。クリックすると、次の [プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログが表示されます。</p> <p>[プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログでは、ホワイトバランスの各プリセットデータのコメントを編集することができます。ここでは、36 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「ホワイトバランスプリセットの [プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定したコメントが、カメラに送信されます。</p> 

**[プリセットホワイトバランスのコメントの編集] ダイアログに入力可能な記号について**

[コメント編集] ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

「(スペース)」、「!」、「"」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「\*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「\_」、「{」、「}」

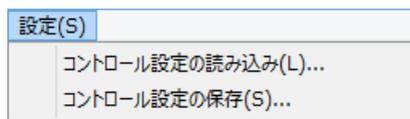
[高感度ノイズ低減]	撮像感度が高感度になると、動画にざらつき（ノイズ）が入る場合があります。選択できるメニューと [高感度ノイズ低減] が有効になる感度については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
------------	---

## コントロール設定の保存と読み込み

[Camera Control Pro] ウィンドウの各パネルで設定した内容をファイルに保存したり、読み込んで使うことができます。

[設定] メニューから次のメニュー項目を選択して、設定の保存や読み込みを行います。

Nikon 1 V3 の場合、ライブビュー画面が表示されている場合のみ有効です。



<p><b>[コントロール設定の読み込み]</b></p>	<p>[コントロール設定の保存] で保存した設定を読み込みます。接続しているカメラで保存した設定を読み込んでください。</p> <p>このメニュー項目を選択すると、[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。ドライブとフォルダを指定し、コントロール設定ファイル（ファイル名に「.ncc」という拡張子がつきます）を選択します。現在の [Camera Control Pro] ウィンドウの設定が、選択したファイルの設定に変わります。</p>
<p><b>[コントロール設定の保存]</b></p>	<p>現在の [Camera Control Pro] ウィンドウの設定をファイルに保存します。保存した設定は、[コントロール設定の読み込み] で呼び出せます。</p> <p>このメニュー項目を選択すると、[名前を付けて保存] ダイアログが表示されるので、保存先とファイル名を指定します（ファイル名に「.ncc」という拡張子がつきます）。</p>

### [コントロール設定の保存] で保存されない項目について

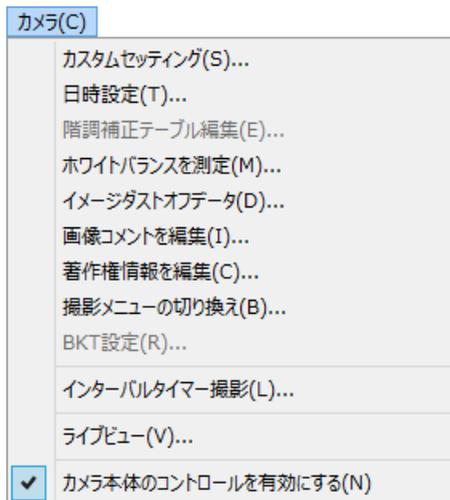
[コントロール設定の保存] で設定を保存しても、以下の項目は保存できません。

- [\[ドライブ\] パネルの \[オートBKT\] チェックボックス](#)のオン/オフ
- [\[ドライブ\] パネルの \[レンズ\]](#) の編集内容
- [\[処理\] パネルの \[ピクチャーコントロール\] の \[調整\] ダイアログ](#)の全項目
- [\[BKT モード\] ダイアログ](#)の全項目

# [カメラ] メニューについて

1/6

Camera Control Pro の [カメラ] メニューから次のメニュー項目を選択することによって、カメラの設定を変更したり、撮影した画像にさまざまな画像調整を行うことができます。



## [カスタムセッティング]

(D750/D610/D600/  
D7200/D7100/D5500/  
D5300/D5200/D5100/  
Df/Nikon 1 V3 以外)

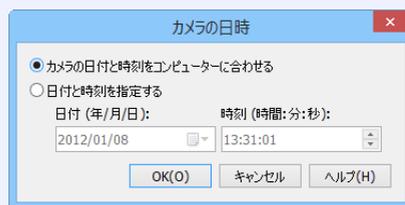
[カスタムセッティング] を選択すると、撮影時のカメラの設定を変更できる [カスタムセッティング] ダイアログが開きます。詳細な内容については [「カスタムセッティング」](#) を参照してください。

## [日時設定]

[日時設定] を選択すると、[カメラの日時] ダイアログが開きます。ここでは、使用するカメラの日時設定を行うことができます。

[カメラの日付と時刻をコンピューターに合わせる] を選択すると、パソコンに設定されている日時をカメラと同期します。[日付と時刻を指定する] を選択すると、任意の日時を設定できます。

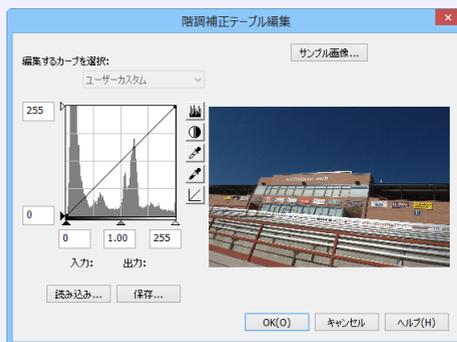
[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定した内容がカメラに反映されます。



# [カメラ] メニューについて

2/6

[階調補正テーブル編集] を選択すると、[階調補正テーブル編集] ダイアログが開きます。



このダイアログの機能はカメラの階調補正テーブルを作成するもので、サンプル画像で確認しながら、シャドウ、ハイライト、中間調や、最小出力値、最大出力値などを編集することができます。初期設定のリニアの状態では、カメラの階調補正の標準（ノーマル）と同じ効果のカーブになります。独自の階調を作成して、カメラに適用することができます。編集できるのはマスターカーブ（[RGB] チャンネルのカーブ）だけで、カーブ上に追加できるポイントは 20 個までです。グレー点の追加はできません。

## [階調補正テーブル編集] (D60)

ここで作成されたカーブは、カメラのノーマルカーブに付加された上でカメラに設定されます。そのため、ノーマルカーブで作成された画像を元に手直す形でカーブを編集することをおすすめします。

[読み込み] ボタンをクリックすると、[階調補正テーブル編集] ダイアログで保存したトーンカーブファイル (.ntc) を選択して画像に適用することができます。次の設定ファイルが読み込み可能です。

- [保存] で保存したトーンカーブファイル (.ntc)
- 別売の Nikon Capture で保存した [トーンカーブ] ファイル (.ncv)
- 別売の Capture NX 2 または Capture NX で保存した [レベルとトーンカーブ] のデータを含んだ設定ファイル (.set)

[保存] ボタンをクリックすると、[階調補正テーブル編集] ダイアログで編集したカーブをトーンカーブファイル (.ntc) の形式で保存することができます。

[サンプル画像] ボタンをクリックすると、画像調整のサンプル画像を選択して表示します。ただし、サンプル画像として使用できるのは、カメラで作成された RAW 画像のみです。

[OK] ボタンをクリックすると、編集したカーブがカメラに記録されます。

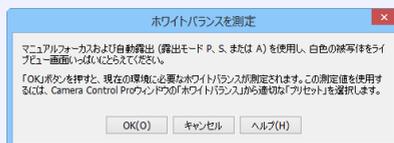
# [カメラ] メニューについて

3/6

[ホワイトバランスを測定] を選択すると、プリセットホワイトバランスをセットすることができます。

**D60、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、Nikon 1 V3**の場合：

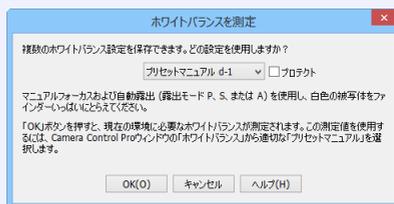
[OK] ボタンをクリックすると、プリセットホワイトバランスがセットされます。



**D60、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、Nikon 1 V3**以外の場合：

[ホワイトバランスを測定]

ポップアップメニューよりデータの保存先を選択し、[OK] ボタンをクリックすると、プリセットホワイトバランスがセットされます。[プロテクト] チェックボックスをオンにすると、選択しているプリセットをプロテクトできます (D4 シリーズ、D810、D810A、D800、D800E、D750、D610、D600、D7200、D7100、Df)。プリセットホワイトバランスの詳細な設定方法は、カメラの使用説明書をご覧ください。

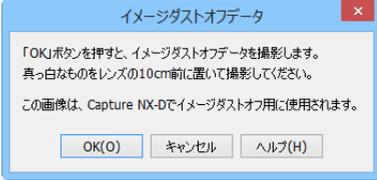
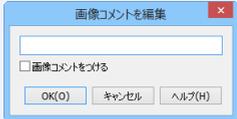


## D750/D610/D600/D90/D60/D7200/D7100/D7000/D5500/D5300/D5200/D5100/D5000 の撮影モードダイヤルについて

[ホワイトバランスを測定] する場合は、撮影モードダイヤルを [P]、[S]、[A]、[M] のいずれかの露出モードに設定してください。

# [カメラ] メニューについて

4/6

<p><b>[イメージダストオフデータ]</b> (Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>[イメージダストオフデータ] を選択すると、[イメージダストオフデータ] ダイアログが開きます。ここでは Capture NX-D などの [イメージダストオフ] で使用できるイメージダストオフデータを取得できます。</p>  <p>[イメージダストオフデータ] ダイアログの [OK] ボタンをクリックすると、イメージダストオフデータを取得します。イメージダストオフデータの撮影方法は、カメラの使用説明書をご覧ください。</p>
<p><b>[画像コメントを編集]</b> (Nikon 1 V3 以外)</p>	<p>[画像コメントを編集] を選択すると、[画像コメントを編集] ダイアログでカメラで設定したコメントを表示および編集できます。</p> <p>[画像コメントをつける] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、ここで表示されているコメントが画像に記録されます。チェックボックスをオフ <input type="checkbox"/> にすると、撮影画像には記録されませんが、[画像コメント] のコメントエリアに入力されます。</p> <p>[OK] ボタンをクリックすると、設定がカメラに保存され、撮影する画像に適用されます。</p> 
<p><b>[著作権情報を編集]</b> (D4 シリーズ / D3 (ファームウェア Ver.2.00 以上) / D3X/D3S/D810 / D810A/D800/D800E / D750/D700/D610/D600 / D300S/D300 (ファームウェア Ver.1.10 以上) / D7200/D7100/D7000 / D5500/Df)</p>	<p>[著作権情報を編集] を選択すると、[著作権情報を編集] ダイアログが開きます。撮影者名、著作権者が編集できます。[画像に著作権情報をつける] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、ここで表示されている撮影者名、著作権者が画像に記録されます。</p> 

# [カメラ] メニューについて

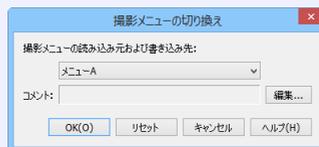
5/6

## [撮影メニューの切り換え]

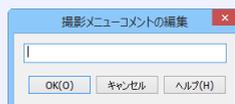
(D750/D610/D600/D90/  
D60/D7200/D7100/  
D7000/D5500/D5300/  
D5200/D5100/D5000/  
Nikon 1 V3 以外)

[撮影メニューの切り換え] を選択すると、[撮影メニューの切り換え] ダイアログが開きます。撮影メニューについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

撮影メニューのセット状態を4通り記憶させておくことができ、撮影状況に合わせて、あらかじめ記憶させておいたセットを一括して簡単に呼び出すことができます。また、各撮影メニューのコメントの編集や、撮影メニューのセット状態のリセットを行うこともできます。



[編集] ボタンをクリックすると、[撮影メニューコメントの編集] ダイアログが表示されます。[撮影メニューコメントの編集] ダイアログでは、各撮影メニューのコメントを編集することができます。使用できる記号に関しては、「[撮影メニューコメントの編集] ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定したコメントが、カメラに送信されます。



## Camera Control Pro のダイアログに入力可能な文字について

半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

「(スペース)」、[!]、["]、[#]、[\$]、[%]、[&]、[']、[(、)]、[\*]、[+]、[,]、[-]、[.]、[/]、[:]、[;]、[<]、[=]、[>]、[?]、[@]、[[]]、[ ]、[\_]、[{]、[}]

# 【カメラ】メニューについて

6/6

<b>【BKT 設定】</b> (D60/Nikon 1 V3 以外)	[BKT 設定] を選択すると、[BKT モード] ダイアログが開きます。詳細な内容については、 <a href="#">インターバルタイマー撮影の手順 2</a> を参照してください。
<b>【インターバルタイマー撮影】</b>	[インターバルタイマー撮影] を選択すると、[インターバルタイマー撮影] ダイアログが開きます。詳細な内容については、「 <a href="#">インターバルタイマー撮影</a> 」を参照してください。
<b>【ライブビュー】</b> (D60 以外)	[ライブビュー] を選択すると、[ライブビュー] ウィンドウが表示されます。詳細な内容については、「 <a href="#">ライブビュー撮影</a> 」を参照してください。
<b>【カメラ本体のコントロールを有効にする】</b> (Nikon 1 V3 以外)	チェックをオンにすると、接続したカメラを直接操作して撮影することができます。チェックをオフにすると、電源スイッチ、フォーカスモードセレクター以外のすべてのカメラ本体での操作が行えなくなります。

# カスタムセッティング

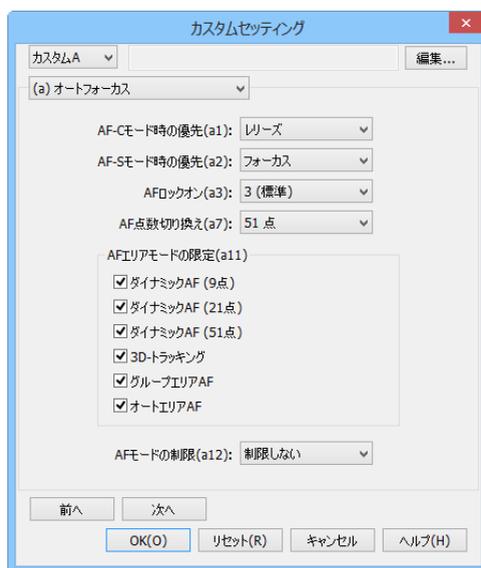
1/4

[カスタムセッティング] ダイアログでは、カメラに設定されているカスタムセッティングの内容を参照したり、変更したりすることができます。カスタムセッティングについての詳細は、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

## D750/D610/D600/D7200/D7100/D5500/D5300/D5200/D5100/Df/ Nikon 1 V3 のカスタムセッティング

上記の機種は、カスタムセッティングに対応していません。

- 1 [カメラ] メニューの [カスタムセッティング] を選択します。  
次のような [カスタムセッティング] ダイアログが表示されます。



[カスタムセッティング] ダイアログには、接続されているカメラのカスタムセッティングが表示されます。

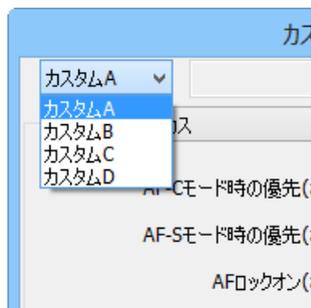
## カスタムセッティングの内容

[カスタムセッティング] ダイアログに表示されている各項目を変更すると、カメラに変更内容が送信され、カメラ側のカスタムセッティングに反映されます。カメラを直接操作することなく、カスタムセッティングの内容を変更できます。

# カスタムセッティング

2/4

- 2** カスタムセッティングを切り換えるときは、ウインドウ上部のメニューを開き、表示されるポップアップメニューの中から選択します。  
カスタムセッティングは、使用するカメラの機種によって選択できる数が異なります。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。



D4S

- 3** 各項目を変更して [OK] ボタンをクリックすると、変更した内容がカメラに反映されます。

## 注意

カスタムセッティングの内容をファイルに保存することはできません。また、[リセット] ボタンをクリックすると、すべての項目が初期設定に戻ります。

# カスタムセッティング

3/4

## D60 以外のカスタムセッティング

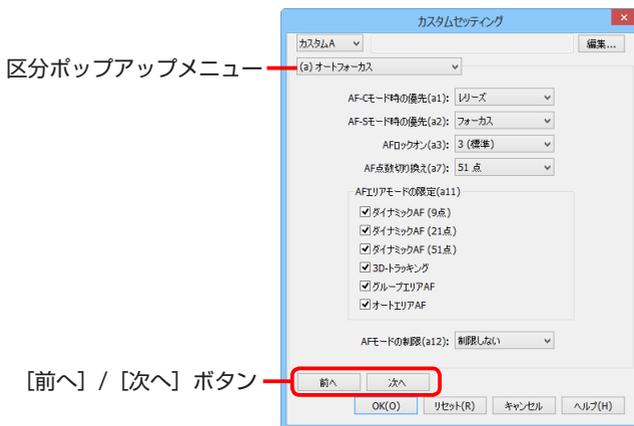
### カスタムセッティングとコメントについて

D90、D7000、D5000 以外のカメラでは、「カスタム A」、「カスタム B」、「カスタム C」、「カスタム D」からカスタムセッティングを選択することができます。また、「カスタム A」、「カスタム B」、「カスタム C」、「カスタム D」は、それぞれお好みの名前に変更することができます。カスタムセッティングの切り換えリストの右横にある「編集」ボタンをクリックすると、「コメント編集」ダイアログが表示されます。

「コメント編集」ダイアログでは、各カスタムセッティングの名前を編集することができます。ここでは、20 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「カスタムセッティングの「コメント編集」ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定した名称が、カメラに送信されます。

### カスタムセッティングの区分について

各パネルでは、それぞれの区分に属するカスタムセッティングを設定することができます。表示するパネルの切換えは、区分ポップアップメニュー、または「前へ」/「次へ」ボタンで行います。



画面は D4S のパネルです

## カスタムセッティングの「コメント編集」ダイアログに入力可能な記号について (D90/D7000/D5000 以外)

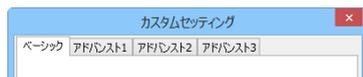
「コメント編集」ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：  
 「(スペース)」、「!」、「"」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「\*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「\_」、「{」、「}」

# カスタムセッティング

4/4

## D60 のカスタムセッティング

D60 のカスタムセッティングは、「ベーシック」「アドバンスト 1」「アドバンスト 2」「アドバンスト 3」の 4 区分に分けられています。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。



# 付録

環境設定		108
[一般] パネル		109
[カラーマネージメント] パネル	<i>Windows</i>	111
	<i>Mac</i>	113
アンインストール		
	<i>Windows</i>	115
	<i>Mac</i>	116
標準 RGB 色空間について		117
トラブルシューティング		119
カスタマー登録とサポート窓口のご案内		120

# 環境設定

1/7

Windows の場合、Camera Control Pro の [ツール] メニューから [オプション] を、Mac の場合は、[Camera Control Pro] から [環境設定] を選択すると、[オプション (環境設定)] ダイアログが表示されます。

*Windows**Mac*

Camera Control Pro の [オプション (環境設定)] ダイアログの各パネルでは、次のようなユーザー環境を設定できます。

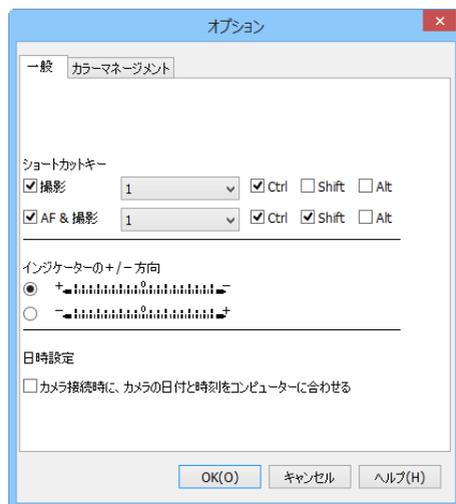
- [\[一般\] パネル](#)
- [カラーマネージメント] パネル ([Windows](#)、[Mac](#))

# 環境設定

2/7

## 【一般】 パネル

【一般】 パネルでは、[撮影] ボタンと [AF & 撮影] ボタンのショートカットキーの割り当てとインジケータの方向を変更できます。ショートカットキーは Camera Control Pro が起動している場合は常に有効です。



【撮影】	[撮影] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、[撮影] ボタンのショートカットキーが有効になります。ポップアップメニューからショートカットキーとして使用したいキーを選択します。組合せに使用するキー（Windows：Ctrl/Shift/Alt、Mac：control/shift/option/command）も選択できます。
【AF & 撮影】	[AF & 撮影] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、[AF & 撮影] ボタンのショートカットキーが有効になります。ポップアップメニューからショートカットキーとして使用したいキーを選択します。組合せに使用するキー（Windows：Ctrl/Shift/Alt、Mac：control/shift/option/command）も選択できます。

### ショートカットキーが無効になる場合

ダイアログが表示されている場合や、画像をパソコンに転送している場合は、ショートカットキーは動作しません。OS や他のアプリケーションとショートカットキーが重複する場合、いずれかのショートカットキーが無効になる場合があります。設定が重複しないように注意してください。

### ショートカットキーが重複する場合

[撮影] ボタンと [AF & 撮影] ボタンのショートカットキーが重複する場合、警告ダイアログが表示されます。両方のボタンにショートカットキーを登録したい場合は、重複しないように設定してください。

# 環境設定

3/7

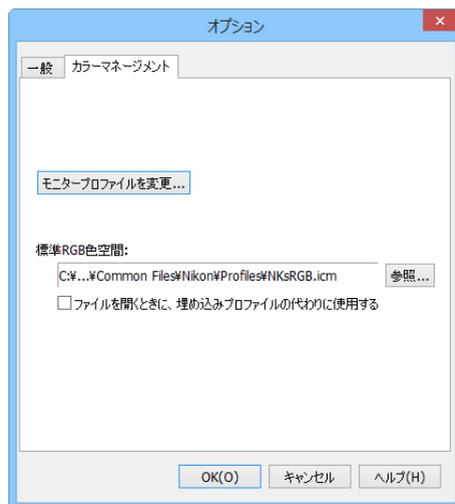
[インジケータの +/- 方向]	LCD 領域の露出インジケータの + と - の方向を設定できます。 [BKT モード] ダイアログの [露出ステップ幅 (段)] のインジケータの向きも変更されます。
[日時設定]	[カメラ接続時に、カメラの日付と時刻をコンピューターに合わせる] チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、カメラと Camera Control Pro が接続された場合に、コンピューターに設定されている日時に合わせてカメラの日時を同期します。

## 環境設定

4/7

## 【カラーマネジメント】 パネル (Windows)

Windows の [カラーマネジメント] パネルでは、ニコンカラーマネジメントシステムに関する項目を設定できます。



<p><b>【モニタープロファイルを変更】 ボタン</b></p>	<p>ご使用のモニターの特性を補正するために使われるディスプレイプロファイルを設定します。</p> <p>クリックすると、[色の管理] ウィンドウが開きます。[このデバイスに自分の設定を使用する] にチェックを入れ、[追加] ボタンをクリックして、ディスプレイプロファイルを指定します。</p>
<p><b>【標準 RGB 色空間】</b></p>	<p>画像を扱う際の作業用（出力）色空間を設定します。[参照] ボタンをクリックして RGB プロファイルを指定します。</p> <p>[ファイルを開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する] のチェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、標準 RGB 色空間で設定された色空間が作業用色空間となります。チェックボックスをオフ <input type="checkbox"/> にすると、画像ファイルに埋め込まれているプロファイルが作業用色空間となります。</p>

# 環境設定

5/7

## マルチディスプレイ

マルチディスプレイの環境で表示する場合は、主に画像を表示するディスプレイに合ったプロフィールを設定してください。

## デフォルト（初期値）のディスプレイプロフィール

パソコンでカラープロフィールが設定されていない場合には、NKMonitor\_Win.icm をデフォルト（初期値）のディスプレイプロフィールとして使用します。NKMonitor\_Win.icm は sRGB に相当します。

## 【カラーマネージメント】パネルの設定

【カラーマネージメント】パネルで変更した内容は、ViewNX-i、ViewNX 2、ViewNX、Nikon View、PictureProject または別売の Nikon Capture で共有され、各アプリケーションのオプション（環境設定）の【カラーマネージメント】パネルに反映されます。Capture NX-D または別売の Capture NX 2、Capture NX には反映されません。

# 環境設定

6/7

## 【カラーマネージメント】 パネル (Mac)

Mac の [カラーマネージメント] パネルでは、ニコンカラーマネージメントシステムに関する項目を設定できます。また、ディスプレイプロファイルについては、システム環境設定のディスプレイで設定されているプロファイルが反映されます。



### 【書類のデフォルト ColorSync プロファイル】 セクション

画像の表示に使用する、ICC プロファイルを設定します。

**【標準 RGB 色空間】**：画像を扱う際の作業用（出力）色空間（ICC プロファイル名）を選択できます。[ファイルを開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する] チェックボックスをオン  にすると、ここで設定したプロファイルが画像を扱う際の作業用色空間となります。チェックボックスをオフ  にすると、画像ファイルに埋め込まれているプロファイルが作業用色空間となります。

### 【装置のプロファイル】 セクション

ディスプレイプロファイルの設定を行います。

**【ディスプレイプロファイルの変更】**：[ディスプレイプロファイルの変更] ボタンをクリックすると、システム環境設定のディスプレイが開きます。ここで、[カラー] タブを選択して、ディスプレイのプロファイルを参照および変更することができます。

# 環境設定

7/7

## 補足

[標準 RGB 色空間] に入力用のプロファイルを設定した場合、Camera Control Pro では、sRGB 色空間が設定されたものとして動作します。

## 【カラーマネージメント】 パネルの設定

[カラーマネージメント] パネルで変更した内容は、Nikon View、PictureProject または Capture NX-D、別売の Capture NX 2、Capture NX、Nikon Capture には反映されませんが、ViewNX-i、ViewNX 2、ViewNX には反映されます。ただし、ディスプレイプロファイルの変更は、OS の設定を変更するため、すべてのソフトウェアに影響します。

## マルチディスプレイ

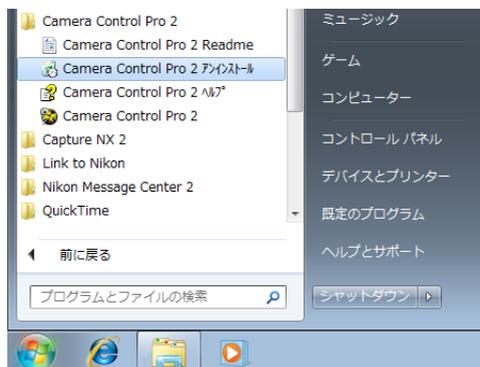
マルチディスプレイの環境では、ウィンドウのより多くのエリアを表示しているディスプレイのプロファイルを取得し表示します。従って、ディスプレイごとに異なるプロファイルを使って表示を行うことができます。

# アンインストール

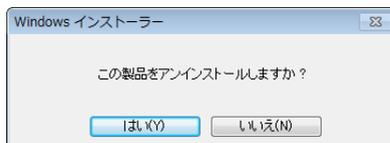
**Windows**

Camera Control Pro をアンインストールする際は、管理者 (Administrator) 権限のアカウントでログオンしてください。

- 1** スタートのプログラム一覧から [Camera Control Pro 2] → [Camera Control Pro 2 アンインストール] を選択します。



- 2** アンインストールの確認ダイアログが表示されます。



[はい] ボタンをクリックすると、アンインストールを開始します。

- 3** Camera Control Pro とほかのプログラムで共有している共有ファイルや読み取り専用ファイルがある場合、確認の画面が表示されます。画面の表示を確認しながらファイルを削除、または残します。

- 4** パソコンを再起動するダイアログが表示された場合は、ダイアログにしたがってパソコンを再起動してください。

## Windows8.1 をお使いの場合

Windows 8.1 の場合は、コントロールパネル内の「ソフトウェアのアンインストール」から行ってください。

# アンインストール

Mac

Camera Control Pro をアンインストールする際は、「管理者」権限のアカウントでログインしてください。

- 1 [アプリケーション] → [Nikon Software] → [Camera Control Pro 2] の順にフォルダを選択し、[Camera Control Pro 2 Uninstaller] をダブルクリックしてください。



- 2 Camera Control Pro のアンインストールには、管理者の [名前] と [パスワード] が必要です。  
管理者の名前とパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。



- 3 [はい] ボタンをクリックしてください。



- 4 [終了] ボタンをクリックしてください。



## 標準 RGB 色空間について

1/2

	色空間	Windows	Mac	内容
ガンマ 1.8 系	Apple RGB	NKApple.icm	Nikon Apple RGB 4.0.0	Adobe Photoshop 4.0 以前のバージョンで使用されていた RGB 色空間です。各種 DTP アプリケーションでも使用されている、Mac 用モニターの平均的な RGB 色空間です。Mac 上で画像を表示する場合に適しており、バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「Apple RGB」に相当します。
	ColorMatch RGB	NKCMatch.icm	Nikon ColorMatch RGB 4.0.0	Radius 社の Pressview モニター用の色空間で、Apple RGB よりもやや色域が広く、特に青の色域が広いのが特徴です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「Color Match RGB」に相当します。

## 標準 RGB 色空間について

2/2

色空間	Windows	Mac	内容
sRGB	NKsRGB.icm	Nikon sRGB 4.0.0	ほとんどの Windows 用モニターの代表として定義された色空間です。一般的なカラー TV の色空間にも非常に似通っており、近年アメリカで標準となりつつあるデジタル TV 放送用色空間でもあります。この色空間を初期設定色空間として使用するハードウェア、ソフトウェアが多く見受けられます。近年 Web ページに用いる画像の標準色空間になりつつあり、スキャンした画像を編集またはプリントせず、そのまま電子画像として使用する場合に適しています。しかし色域が狭く、特に青の色域が狭いのが特徴です。Adobe Photoshop 5.0 または 5.5 における RGB 設定の「sRGB」、Adobe Photoshop 6.0 における「sRGB IEC61966-2.1」に相当します。
Bruce RGB	NKBruce.icm	Nikon Bruce RGB 4.0.0	Bruce Fraser 氏が定義した色空間です。xy 色度図上で「Adobe RGB」の G と「ColorMatch RGB」の G の間に G の色度を定義し、sRGB の青の色域を広げて SWOP CMYK の色域を包含する色域を実現しています。Bruce RGB の R と B は「Adobe RGB」と一致しています。
NTSC (1953)	NKNTSC.icm	Nikon NTSC 4.0.0	National Television Standard Committee (NTSC) で定義されたビデオ色空間で、従来のカラーテレビの標準 RGB 色空間です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「NTSC (1953)」に相当します。
Adobe RGB (1998)	NKAdobe.icm	Nikon Adobe RGB 4.0.0	Adobe Photoshop 5.0 で定義された色空間です。sRGB よりもかなり色域が広く、ほとんどのプリンターの CMYK 色域を包含しているため、DTP 関連の業務に適しています。Adobe Photoshop 5.0 の RGB 設定の「SMPTE-240M」、バージョン 5.5 以降の「Adobe RGB (1998)」に相当します。
CIE RGB	NKCIE.icm	Nikon CIE RGB 4.0.0	Commission Internationale de l'Eclairage (CIE) で定義された色空間です。色域はかなり広めですが、シアン系の色域が狭いのが特徴です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「CIE RGB」に相当します。
Adobe Wide RGB	NKWide.icm	Nikon AdobeWide RGB 4.0.0	Adobe 社が定義した可視カラーの大半を表現できる色空間です。しかしこの色空間で定義される色の大半は一般的なモニターやプリンターでは表現できない色となります。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「Adobe Wide RGB」に相当します。

ガンマ 2.2 系

# トラブルシューティング

## 撮影画像が表示されない

[ダウンロードオプション] の [\[カメラから新しい画像を受け取った時\]](#) の設定が [何もしない]、[Capture NX 2 の監視フォルダに保存する] または [Capture NX の監視フォルダに保存する] になっていないか確認してください。上記の設定になっている場合は、[ViewNX 2 に表示する] または [ViewNX に表示する] を選択してください。

## カメラ本体で操作ができない

カメラメニューの [\[カメラ本体のコントロールを有効にする\]](#) にチェックがオフになっていないか確認してください。オフになっている場合は、チェックをオンにしてください。また、ライブビュー撮影中は [カメラ本体のコントロールを有効にする] がオンになっていても、カメラ本体を操作できません。ライブビュー撮影を終了してください。

## Camera Control Pro で操作ができない

カメラメニューの [\[カメラ本体のコントロールを有効にする\]](#) にチェックがオンになっていないか確認してください。オンになっている場合は、チェックをオフにしてください。

# カスタマー登録とサポート窓口のご案内

## カスタマー登録のご案内

Camera Control Pro のインストール前または後に [Welcome] ウィンドウの [Nikon オンライン関連リンクボタン] をクリックすると表示される画面の [カスタマー登録] ボタンをクリックしてください。インターネットを通じてカスタマー登録を行うことができます（インターネットに接続できる環境が必要です）。

カスタマー登録



カスタマー登録は下記の Web サイトからも行えます。

<https://reg.nikon-image.com>

## 製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



**0570-02-8000**

一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)  
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、(03)5977-7499 にお送りください。

株式会社 **ニコン**

© 2007 Nikon Corporation